【別添1-1】

令和7年度 水質分析実施計画

薩摩川内市 水道事業 《川内地域》

令和7年度 水質分析実施計画 【川内地域】

							薩丿	摩」	内	市水道	直導	業	Ę																													
		丸	Ш		永利	ı		中福	良	百次	Æ	神				寄	Ħ	西	方	I		I				Ē	† 4	月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	回数	検体	▶数
水 源	Į.	丸山	今村	met			第3 尾	_	-	百次		第2	高江	土川	湯田		第2	第1	第2	水引	網津	湯之元	高貫	堀之内	乗越 木	易谷																
		иш	予刊	田崎	弗1	弗2	第3 尾	計江	青川	日次	弗1	弗2				弗1	弗2	弗1	弗2							┵	_ _	_														
		((芸/尾 ((小倉》)						_	O (百次)						C (久見	(崎)										9項	自 9	項目	51 項目	9項目	9項目	省略 不可能 項目	9項目	9項目	省略不可能項目	9項目	9項目	省略 不可能 項目			
		(冷	水)						Ļ	(木場茶屋)					_	(港	\$)																									
净 水	,	(城	<u>上)</u>		0			0	, [(0	0	0	0	(上) (上)	野)	C)	0	0	0	0	0	0 (2		5	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	12	300	検体
77 77		(清	水))												,	(池之	(段)											.5	20	20	20	20	23	20	20	25	20	20	25			
)																								5					か	び臭	2 J	目					5	25	検体
		(各)																											5		5	5	5	5						ŭ	20	
	表流水	0																												1			1			1			1	4	4	
原水 39 項目	深井戸		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0 () 2	3			23										1	23 2	8 検体
	湧 水																						0							1										1	1	
過去指標菌検	出状況	0						0		0				0	0		0					0	0				3	5	リプ	トスフ	ポリシ	ブウ ⊿	な等さ	対策:	指針	【検	查頻	度と	回数】			
原水監視レペル 3・4	指標菌:毎月	0						0		0				0	0		0					0	0				3	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	12	96	検体
クリプトスポリジウム等	原水検査:4回/年	0				O **		0		0				0	0		0					0	0)			9			9			9			9	4	36	検体
原水監視レベル 2	指標菌:4回/年		0	0	0	0	0		0		0	0	0			0		0	0	0	0			0	0) 1	7			17			17			17			17		68	検体
原水監視レベル 1	指標菌:1回/年																																									検体
原水監視レベル 1	39項目:回/年																·																								•	

- *レベル3・4で指標菌を検出する原水は指標菌を毎月とクリプトスポリジウム及びジアルジアを4回/年実施する。
- *レベル2で指標菌の検出がないものは指標菌を4回/年実施する。
- *レベル1で指標菌の検出がないものは原水39項目を1回/年と指標菌を1回/年実施する。
- *原水に関しては、全水源を対象とし原水39項目を1回/年実施する。
- *各施設毎の浄水検査内容は、次ページ以降に記載する。
- ※永利第2水源は原水監視レベル2ですが、安全確保のためクリプトスポリジウム及びジアルジアを4回/年実施する。

水道施設名 : 薩摩川内市 川内地域 (丸山【芸ノ尾配水池系 《小倉町》】) <採水地点:小倉公民館>

日本語画		小倉公民館>				「町》】)	《小酒	小心 术	甩配					מות	巾.	ШM	薩摩	水道施設名 :	
特別語		理由				基準値			10.5					7.	0.5			No 項目	No
2 大路音		· ·		(2) 1/10	① 1/5													****	
3 カドキウム及びその化合物				-	-														
4					-		O	0 0	0	0	0	0	O	O		O	O		
5 世 しと及びその化合物										+	₩		-						
6 船及びその化合物 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○									\dashv	+	4—		-						
7 上来女比その化合物 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○									\vdash		4		-						
8 大幅クロム化合物 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○										\bot	_		_						
3 重視機能整果									\perp						_				
10 アン化物イナン及び塩化シアン																			
日本語語の主義の正面接触的意素				0.004	0. 008				\Box										_
12				-	-										_				
13		検査回数を減らすことのできる項目ですが地域性を考慮し安全確認のため 1 年に 4 回の検査	0. 9				0		0			0						11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	11
14 国地比茂素		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)	0.08未満			0.8												12 フッ素及びその化合物	12
15 1.4-ジオキサン		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)	0.1未満			1.0												13 ホウ素及びその化合物	13
16 以-1、2・ジ 900214い及び1920-1、2・ジ 9002140 0 0 0 0 0 0 0 0 0		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)	0.0002未満	0.0002	0.0004	0. 002									0			14 四塩化炭素	14
17 ジクロロメタン		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)	0.005未満	0.005	0.010	0. 05									0			15 1, 4-ジオキサン	15
18 テトラクロロエチレン		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)	0.004未満	0.004	0.008	0. 04									0			16 シスー1, 2ージクロロエチレン及びトランスー1, 2ージクロロエチレン	16
18 テトラクロロエチレン		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)	0.002未満	0.002	0.004	0. 02									0			17 ジクロロメタン	17
19 トリクロロエチレン				0. 001	0. 002	0. 01									0			18 テトラクロロエチレン	18
20 ペンゼン	-					0, 01							1						
21 塩素酸					0 002								1						
22 クロ町酸				-	-		0		0			0							
23 クロロホルム O O O 0.016 - 0.017 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 24 ジクロロ酢酸 O O O O 0.03 - - 0.004 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 25 ジプロモクロメタン O	_			_	_					+			+					— 1 111	
24 ジクロロ酢酸 〇 〇 〇 〇 0.03 - - 0.004 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 25 ジブロモクロコメタン 〇 〇 〇 0.01 - - 0.006 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 26 臭素酸 〇 〇 〇 〇 0.01 - - 0.0001未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 27 総トリハロメタン 〇 〇 〇 〇 0.03 - - 0.003 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 28 トリクロロ群酸 〇 〇 〇 ○ 0.03 - - 0.009 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 29 プロモボルム 〇 〇 ○ ○ ○ 0.03 - - 0.009 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 30 プロモボルム ○ ○ ○ ○ ○ ○ 0.001未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 31 ホルムアルデヒド ○ ○ ○ ○ ○ ○ 0.001未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 32									_	+			+					1111111	
25 ジブロモクロロメタン O <					-					+									
26 臭素酸 〇 〇 〇 〇 〇 0.01 - 0.001未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 27 総トリハロメタン 〇 〇 〇 〇 〇 ○ 0.03 - 0.003 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 28 トリクロロ酢酸 〇 〇 〇 〇 〇 ○ 0.003 - - 0.009 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 29 プロモジクロロメタン 〇 〇 〇 〇 ○ ○ 0.003 - - 0.009 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 30 プロモホルム 〇 〇 〇 ○ ○ 0.001未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 31 ホルムアルデヒド ○ ○ ○ ○ ○ 0.008未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 32 亜鉛及びその化合物 ○ ○ ○ ○ 0.008未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 33 アルミニウム及びその化合物 ○ ○ ○ 0.010 0.01未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 34 数及びその化合物 ○ ○ ○ 0.02 0.03 0.03未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 35 銅及びその化合物 ○					-					+			+						
27 総トリハロメタン O O O O O 0.03 - - 0.030 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 28 トリクロロ酢酸 O										+									
28 トリクロロ酢酸 O O O 0.003 - - 0.009 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 29 プロモジクロロメタン O O O 0.003 - - 0.009 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 30 プロモホルム O O O O O 0.09 - - 0.001未満検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 31 ホルムアルデビド O O O O O 0.08 - - 0.008未満検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 32 亜鉛及びその化合物 O O O O 0.08 - - 0.008未満検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 33 アルミーウム及びその化合物 O D 0.00 0.01 0.01未満過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 34 鉄及びその化合物 O 0.03 0.06 0.03 0.03未満過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 35 銅及びその化合物 O 0.01 0.01 0.01未満過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)										+									
29 プロモジクロロメタン O O O O O 0.003 - - 0.009 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 30 プロモホルム O O O O 0.009 - - 0.001未満検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 31 ホルムアルデヒド O O O O 0.08 - - 0.008未満検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 32 亜鉛及びその化合物 O O 0.00 0.10 0.01未満過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 33 アルミニウム及びその化合物 O 0.04 0.02 0.02 0.02 34 鉄及びその化合物 O 0.06 0.03 0.03未満過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 35 銅及びその化合物 O 0.01未満過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)										+			-						
30 プロモホルム 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇													-						
31 ホルムアルデヒド O O O O 0.008 - 0.008未満検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 32 亜鉛及びその化合物 0 1.0 0.20 0.10 0.01未満過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 33 アルミニウム及びその化合物 0 0.2 0.04 0.02 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 34 鉄及びその化合物 0 0.3 0.06 0.03 0.03未満過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 35 銅及びその化合物 0 1.0 0.20 0.10 0.01未満過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)																			
32 亜鉛及びその化合物 O 1.0 0.20 0.11未満過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 33 アルミニウム及びその化合物 O 0.2 0.04 0.02 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 34 鉄及びその化合物 O 0.3 0.06 0.03 0.03未満過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 35 銅及びその化合物 O 1.0 0.20 0.10 0.01未満過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)				-	-		_		_										
33 アルミニウム及びその化合物 O 0.2 0.04 0.02 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 34 鉄及びその化合物 O 0.3 0.06 0.03 0.03未満過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 35 銅及びその化合物 O 1.0 0.20 0.10 0.01未満過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)				-	-		0		0			0							
34 鉄及びその化合物 O D.3 O.06 O.03 O.03未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 35 銅及びその化合物 O D.00 O.01未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)	0.01未満												_				
35 銅及びその化合物 0.10 0.20 0.10 0.01未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)	0. 02	0. 02	0. 04	0. 2												33 アルミニウム及びその化合物	33
		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)	0.03未満	0.03		0. 3												34 鉄及びその化合物	34
		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)	0.01未満	0.10	0. 20	1.0									0			35 銅及びその化合物	35
36 ナトリウム及びその化合物 ○ 200 40.0 20.0 8.5 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)	8. 5	20.0	40.0	200									0			36 ナトリウム及びその化合物	36
37 マンガン及びその化合物 0.05 0.010 0.005 0.001 0.005 0.001未満 過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)	0.001未満	0.005	0. 010	0. 05									0			37 マンガン及びその化合物	37
38 塩化物イオン OOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOO				-		200	0	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
39 カルシウム、マグネシウム等(硬度) 〇 300 60 30 27 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)				30	60	300									0				
40 蒸発残留物 0 102 水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に	に基づき省略。									T	1		1						
41 陰イオン界面活性剤										+	1	1	1						
42 ジェオスミン							1		-+	+			0	0					
42 フェイスミン									-+										
43 12 12 13 14 15 15 15 15 15 15 15	一並づキ少畋						╂	-	-+	+	\top	1	+ -	\vdash					
44 9+1 / ファル類 0.002 0.0005	- 坐ノ己目哨。						1		\rightarrow	+	1	-	1	1					
					0.0010	0.005		0 0					0			0	0		
					-	5 D D D													
47 pH値										0		0							
48 味 O O O O O O O O O O B 常でないこと 異常なし検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)					-														
49 臭気 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O						異常でないこと													
50 色度 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O				-	-	5													
51 濁度 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O				-	-	2												51 濁度	51
_ 9 11 51 11 11 24 11 9 22 9 9 9 22 項目数 注)各検査項目の単位は、「No.1 [/mL] 」, 「No.3~No.46 [mg/L] 」, 「No.50~No.51 [度] 」, 「No.2及びNo.47~No.49	, [単位なし]	「No.1 [/mL] 」, 「No.3~No.46 [mg/L] 」, 「No.50~No.51 [度] 」, 「No.2及びNo.47~No.49 [៛	項目の単位は、	注)各検3		項目数	22	9 9	22	9	11	24	11	11	51	11	9		

水道施設名 : 薩摩川内市 川内地域 (丸山【芸ノ尾配水池系 (冷水町)】) <採水地点:冷水第2墓地>

	水道施設名 :	進厚	MIN	Ф	JIIM:					多配水	心杀	(/Ti/	水町》】)				冷水第2基地>
No	項目	4.5		^=				検査頻					基準値			2022/01/01~	理由
											9 2月			① 1/5	(2) 1/10	3年間の最大値	
1	一般細菌	0	0	0		0							100	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
2	大腸菌	O	0	0	0	0	0	0	0) C	0	O	検出されないこと	- 0000	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
3	カドミウム及びその化合物			0							_		0.003	0.0006	0.0003		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	水銀及びその化合物			0								1	0. 0005	0.00010	0. 00005		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
_	セレン及びその化合物			0							_		0. 01	0.002	0.001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	鉛及びその化合物	_		0									0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ヒ素及びその化合物			0									0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	六価クロム化合物			0									0. 02	0.004	0. 002		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	亜硝酸態窒素			0									0. 04	0.008	0. 004		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	シアン化物イオン及び塩化シアン			0			0)		0	0. 01	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
-11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素			0			0)		0	10	2. 0	1.0	0.8	検査回数を減らすことのできる項目ですが地域性を考慮し安全確認のため1年に4回の検査
12	フッ素及びその化合物			0									0.8	0. 16	0. 08	0.08未満	過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
13	ホウ素及びその化合物			0									1.0	0. 2	0. 1	0.1未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
14	四塩化炭素			0									0. 002	0.0004	0.0002	0.0002未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
15	1, 4-ジオキサン			0									0. 05	0.010	0.005	0.005未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
16	シスー1, 2ージクロロエチレン及びトランスー1, 2ージクロロエチレン			0									0. 04	0.008	0.004	0.004未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
17	ジクロロメタン			0									0. 02	0.004	0.002	0.002未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
18	テトラクロロエチレン			0									0. 01	0.002	0. 001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
19	トリクロロエチレン			0									0. 01	0.002	0.001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
20	ベンゼン			0									0. 01	0. 002	0.001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
21	塩素酸			0			0)		0	0. 6	_	_	0, 21	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	クロロ酢酸			0			0			5		Ō	0. 02	_	_		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	クロロホルム			0			0			5		0	0.06	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ジクロロ酢酸			0			0			5		0	0.03	_	_		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ジブロモクロロメタン			0			0			5		0	0. 1	_	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	臭素酸			0			0			5		0	0. 01	_	_		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	総トリハロメタン			0			0			5		0	0.01	_	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
28	トリクロロ酢酸			0			0			5		0	0. 03	_	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ブロモジクロロメタン			0			0			5		0	0. 03	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ブロモホルム			0			0			5		0	0. 03	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ホルムアルデヒド			0			0			5		0	0.09	-			検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	亜鉛及びその化合物			0			O		'	,		U		0, 20	0. 10		
				00							-		1.0	0. 20			過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	アルミニウム及びその化合物	-								-	-	1	0. 2		0. 02		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	鉄及びその化合物			0									0.3	0.06	0. 03		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	銅及びその化合物			0							-		1.0	0. 20	0. 10		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ナトリウム及びその化合物			0								1	200	40.0	20. 0		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	マンガン及びその化合物		_	0	_								0. 05	0. 010	0. 005		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	塩化物イオン	0	0	0	0	0	0	0	0) C	0	0	200	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	カルシウム、マグネシウム等(硬度)			0									300	60	30		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
40	蒸発残留物			0									500	100	50		過去の最大値が頻度減の①以下のため1年に1回の検査(水道法:1回/1年)
	陰イオン界面活性剤			0									0. 2	0.04	0. 02		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ジェオスミン		0	0	0	0							0. 00001	0.000002	0.000001		検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
43	2-メチルイソボルネオール		0	0	0	0	0	0					0. 00001	0.000002	0.000001	0. 000001	検査回数の滅不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
44	非イオン界面活性剤			0									0. 02	0.004	0. 002	0.005未満	水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
45	フェノール類			0									0. 005	0.0010	0.0005	0.0005未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0	0	0	0	0			0) C	0	0	3	-	-	0. 6	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
47	pH値	0	0	0	0	0			0) C	0	0	5.8 ~ 8.6	-	-	7. 8	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
48	味	0	0	0	0	0	0) C			異常でないこと	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
49	臭気	0	0	0	0	0	0) C			異常でないこと	-	-	異常なし	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
50	色度	0	0	0	0	0	0) C			5	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	濁度	0	0	0	0	0	0) C		0	2	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
		9	11		11			11		2 9	_	22	項目数		注) 各給		「No. 1 [/mL]」, 「No. 3~No. 46 [mg/L]」, 「No. 50~No. 51 [度]」, 「No. 2及びNo. 47~No. 49 [単位なし]」
		ــــــ		٠.					- 1 '				-7,13			- XI -> - LIG(

水道施設名 : 薩摩川内市 川内地域 (丸山【芸ノ尾配水池系 (宮里町)】) <探水地点:清水第3増圧ポンプ場>

### 1		水道施設名 :	隆厚	MIN	Ф	ΜМ					毛配.	小心杀	(日.	里町》】)				清水第3増圧ポンプ場>
Marie O O O O O O O O O	No	項目			^=							4 - 1		基準値				理由
2 大端母								9月	10月						① 1/5	(2) 1/10		·
2 か まとう人名だらもらら								0	0						-	-		
A PRINT OF COME			O	O		O	O	O	O	O	0	0 0	O		- 0000			
6 で												_						
SAJE APP CONCINT													-					
2 医素がそのに信物																		
日 八郎でからたで無い。											_	_						
9 日 無熱等等性																		
19 アンでを繋げる型の強化とグとします。																		
経験等級系が経験的義、															0. 008	0. 004		
2															-	-		
株の素皮がもの化合物								0			0		0					
自歯性素																		
5 1-1/2-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-17-	13	ホウ素及びその化合物															0.1未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
15 1 1 1 1 1 1 1 1 1	14	四塩化炭素												0. 002	0.0004	0.0002	0.0002未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
17 プロスタン 0 0 0 0 0 0 0 0 0																		
日 テトラフロロチレン																		
9 サノウロコエチレン	17	ジクロロメタン			0									0. 02	0.004	0. 002	0.002未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
20 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	18	テトラクロロエチレン			0									0. 01	0.002	0. 001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
2 注意を 2 クロの財務	19	トリクロロエチレン			0									0. 01	0.002	0.001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
22 P 口 四 静極	20	ベンゼン			0									0. 01	0. 002	0. 001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
22 DOID 目的	21	塩素酸			0			0			0		0	0.6	-	-	0. 22	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
28	22	クロロ酢酸			0			0			0		0	0. 02	-	-	0.002未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
24 タフロ日報	23	クロロホルム			0						0		0	0.06	-	-		
25 ピブロモクロメタン	24	ジクロロ酢酸			0						0		0	0. 03	-	-	0. 004	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
28 共静性	25	ジブロモクロロメタン			0						0		0	0. 1	-	-		
2 B トリハロタン															_	_		
28 トリウロ自動機															_	_		
29 プロモジクロコメタン															_	_		
30 プロモホルム															_			
ボルムアルデヒド															_	_		
32 亜鉛及びその化合物											_				_			
33															0.20	0.10		
34 飲及でその化合物																		
5																		
36																		
37 マンガン及びその化合物											-							
38 塩化物イナン 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇			1										-					
39 カルシウム、マグネシウム等(硬度)				_		_	_	\sim	\sim	^	^	0 0			0.010	0.005		
40 蒸発残留物 日本 日本 10 500 100 50 93 過去の最大値が頻度減の①以下のため1年に1回の検査(水道法:1回/1年) 41 陰イオン界面活性剤 日本 日本 </td <td></td> <td></td> <td>U</td> <td>U</td> <td></td> <td>U</td> <td>U</td> <td>U</td> <td>U</td> <td>U</td> <td>U</td> <td>0 0</td> <td>U</td> <td></td> <td>- 00</td> <td>- 20</td> <td></td> <td></td>			U	U		U	U	U	U	U	U	0 0	U		- 00	- 20		
41 陰イオン界面活性剤 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □			1	-		1	1						1					
42 ジェオスミン O O O O O O O O O O O O O O O O O O O			1	-		-	 		-			-+	+					
43 2-メチルイソボルネナール O O O O O O O O O O O O O O O O O O O			ļ	_		L_	L_				_		1					
44 非イオン界面活性剤 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □													1					
45 フェノール類 O			1	0		0	0	0	0		_		1					
46 有機物(全有機炭素(TOC)の量) O			<u> </u>				<u> </u>			1								
47 pH値 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O															0.0010			
48 味 O															-			
49 臭気 O								0	0						-			
50 色度 O									0						-	-	異常なし	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
51 濁度		臭気			0										-	-	異常なし	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
				0										5	-	-	0.5未満	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
9 11 51 11 11 24 11 9 22 9 9 22 項目数 注)各検査項目の単位は、「No.1 [/mL]」、「No.3~No.46 [mg/L]」、「No.50~No.51 [度]」、「No.2及びNo.47~No.49 [単位なし]」	51	濁度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	2	-	-	0.2未満	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
			9	11	51	11	11	24	11	9	22	9 9	22	項目数		注)各検3	査項目の単位は、	「No.1 [/mL]」, 「No.3~No.46 [mg/L]」, 「No.50~No.51 [度]」, 「No.2及びNo.47~No.49 [単位なし]」

No

2

3

4

5

6

7

水道施設名 : 薩摩川内市 川内地域 (丸山【向鶴配水池系 吉野山配水池 《中村町》】) 〈摆水地点:久住公民館〉 令和7年度検査頻度 頻度減基準 2022/01/01~ 項目 基準値 理由 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ① 1/5 | ② 1/10 | 3年間の最大値 一般細菌 0 0 0 0 100 0 検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月) 0 0 0 0 0 0 0 大腸菌 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 検出されないこと 検出されない 検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月) カドミウム及びその化合物 0 0.003 0.0006 0.0003 0.0003未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 水銀及びその化合物 0 0.0005 0.00010 0.00005 0.00005未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) セレン及びその化合物 0 0.01 0.002 0.001 0.001未満過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 鉛及びその化合物 0 0.01 0.002 0.001 0.001未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 0 0.01 0.002 0.001 0.001未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) ヒ素及びその化合物 六価クロム化合物 0 0.02 0.004 0.002 0.002未満過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 0 0.04 0.008 0.004 0.004未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 0 0.01 0.001未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 0 0 0 -0 0 0 0 10 2.0 1.0 0.9 検査回数を減らすことのできる項目ですが地域性を考慮し安全確認のため1年に4回の検査 0 0.8 0.16 0.08 0.08未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 0 0. 2 0. 1 0.1未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 1 0 0 0.002 0.0004 0.0002 0.0002未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 0 0.05 0.010 0.005 0.005未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 0 0.04 0.008 0.004 0,004未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 0 0.02 0.004 0.002 0.002未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 0 0.01 0.002 0.001 0.001未満過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 0 0 01 0 002 0 001 0.001未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 0 0.01 0.002 0.001 0.001未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 0 0 0 0 0.6 0.23 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 0 0 0 0 0.02 0.002未満|検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 0 0 0 0 0.06 0.025 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 0 0 0 0 0.03 0.003未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) --0 0 0 0 0.1 _ -0.008 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 0 0 0 0 0.01 0.001未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 0 0 0 0 0.1 0.040 | 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 0 0 0 0 0.03 0.012 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 0 0 0 0 0.03 -0.012 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 0 0 0 0 0.09 0.001 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) --

8 9 亜硝酸熊窒素 10 シアン化物イオン及び塩化シアン 11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 12 フッ素及びその化合物 13 ホウ素及びその化合物 14 四塩化炭素 15 1, 4-ジオキサン 16 シスー1、2ージクロロエチレン及びトランスー1、2ージクロロエチレン 17 ジクロロメタン 18 テトラクロロエチレン 19 トリクロロエチレン 20 ベンゼン 21 塩素酸 22 クロロ酢酸 23 クロロホルム 24 ジクロロ酢酸 25 ジブロモクロロメタン 26 臭素酸 27 総トリハロメタン 28 トリクロロ酢酸 29 ブロモジクロロメタン 30 ブロモホルム 31 0 0 0 0 0.08 0.008未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) ホルムアルデヒド 32 亜鉛及びその化合物 0 1.0 0.20 0.10 0.02 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 33 アルミニウム及びその化合物 0 0.2 0.04 0.02 0.02未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 34 鉄及びその化合物 0 0.3 0.06 0.03 0.03未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 35 0. 20 銅及びその化合物 0 1.0 0.10 0.01未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 0 200 40.0 7.7 過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 36 ナトリウム及びその化合物 20.0 37 マンガン及びその化合物 Ω 0.05 0.010 0.005 0.001未満過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 38 塩化物イオン 0 0 0 0 0 0 0 200 0 0 0 18.3 検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月) 39 カルシウム、マグネシウム等(硬度) 0 300 60 30 25 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 100 40 蒸発残留物 0 500 50 93 過去の最大値が頻度減の①以下のため1年に1回の検査(水道法:1回/1年) 41 0 0.04 0. 02 陰イオン界面活性剤 0.2 0.02未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 42 0 0 0 0 0 0 0.00001 0.000002 0.000001 ジェオスミン 0.000003 検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます) 43 2-メチルイソボルネオール 0 0 0 0 0 0 0.00001 . 000002 0.000001 0.000002 検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます) 44 非イオン界面活性剤 Ω 0.02 0.004 0.002 0.005未満 水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。 45 フェノール類 0 0.005 0.0010 0.0005 0.0005未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 46 有機物(全有機炭素(TOC)の量) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0.8 検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月) 47 0 0 0 0 pH値 0 0 0 0 0 0 0 7.7 検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月) 48 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 異常なし 検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月) 異常でないこと 味 0 49 臭気 0 0 0 0 0 0 0 0 0 異常でないこと 異常なし 検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月) _ 50 色度 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 _ 0.5 検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月) 51 濁度 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0.2未満 検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月) 9 11 51 11 11 24 11 9 22 9 9 22 項目数 注) 各検査項目の単位は、「No.1 [/mL] 」、「No.3~No.46 [mg/L] 」、「No.50~No.51 [度] 」、「No.2及びNo.47~No.49 [単位なし] 」

水道施設名 : 薩摩川内市 川内地域 (丸山【向鶴配水池系 《小倉町》】) <探水地点:乙須中継ポンプ場>

### 1		水道施設名 :	薩摩	<u> </u>	ф	JIIM:					配水:	池系	《小准	[町》])				乙須中継ポンプ場>
Marie O O O O O O O O O	No	項目	4-		^=							45165		基準値				理由
2 大照像															① 1/5	(2) 1/10		·
2 か まとう人名だらもらら															-			
本書記していたできましまり、			0	O		O	0	O	O	0	0	0 0	0		-			
日 でした。																		
SAJE-OF-CARP																		
2 日本教授をのに信物	5	セレン及びその化合物																
8 内容からなた物態。	6	鉛及びその化合物												0. 01			0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
9 日 新聞歌学者	7	ヒ素及びその化合物			0									0. 01	0.002	0.001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
19 アンで他所である場合性のです。	8	六価クロム化合物			0									0. 02	0.004	0.002	0.002未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
経験等級系が経験的義、	9	亜硝酸態窒素			0									0. 04	0.008	0.004	0.004未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
20	10	シアン化物イオン及び塩化シアン			0			0			0		0	0. 01	-	-	0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
2	11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素			0			0			0		0	10	2. 0	1.0	0.9	検査回数を減らすことのできる項目ですが地域性を考慮し安全確認のため1年に4回の検査
13 小男素がその心を物					0									0.8	0.16	0.08		
日本性疾病													1					
5 1-4-74 キャン 1 1-4-74 キャン 1 1 1 1 1 1 1 1 1													1					
10											-		1					
7 プロスタン ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			1			1			-		-		1					
8			1			—			\vdash		-		-					
19 19 19 19 19 19 19 19							-						_					
20																		
2 注意を 2 クロの開始			_															
22 D 口 目離離		:													0. 002	0. 001		
23 10 円かしん															-	-		
24 タフロ日報	22	クロロ酢酸									_				-	-	0.002未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
25 ピブロモクロメタン	23	クロロホルム			0			0			0		0	0.06	-	-	0. 022	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
28 共静性	24	ジクロロ酢酸			0			0			0		0	0. 03	-	-	0.003未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
28 共静性	25	ジブロモクロロメタン			0			0			0		0	0. 1	-	-	0.009	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
2	26	臭素酸			0			0			0		0	0. 01	-	-	0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
28 トリウロ自動機	27	総トリハロメタン			0										-	_	0, 038	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
29 プロモジクロコメタン															_			
30 プロモホルム 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0																		
ボルムアルデヒド																		
32 亜鉛及びその化合物										-					_			
33 アルミニウム及びその化合物								0			U		- 0		0.20	0.10		
34 飲及びその化合物													-					
5							-						-					
38 サトリウム及びその化合物																		
37 マンガン及びその化合物			_															
38 塩化物イナン 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇																		
39 カルシウム、マグネシウム等(硬度)							<u> </u>						1		0. 010	0. 005		
40 蒸発残留物 O<	38	塩化物イオン	0	0		0	0	0	0	0	0	0 0	0		-	-		
41 陰イオン界面活性剤 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)			0	L	L			[T			300	60		26	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法: 1回/3年)
42 ジェオスミン O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	40	蒸発残留物			0						П			500	100	50	94	過去の最大値が頻度減の①以下のため1年に1回の検査(水道法:1回/1年)
42 ジェオスミン O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	41	陰イオン界面活性剤			0					İ				0. 2	0.04	0. 02	0.02未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
43 2-メチルイソボルネオール O O O O O O O O O O O O O O O O O O O				0		0	0	0	0	T I								
44 非イナン界面活性剤 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □			1										1					
45 フェノール類 O				Ť		Ť	Ť			t			+					
46 有機物(全有機炭素(TOC)の量) O			1			\vdash	<u> </u>		\vdash	-+	\dashv		-					
47 pH値 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O		***					0		0	0	0	0 0			0.0010	0.0000		
48 味 O															-			
49 臭気 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O		* *						0	0						-			
50 色度 O									0						-			
51 濁度																		
														5	-	-		
【 9 │ 11 │ 51 │ 11 │ 11 │ 11 │ 24 │ 11 │ 9 │ 22 │ 9 │ 9 │ 22 │ 項目数 注)各検査項目の単位は、「No.1 [/mL] 」,「No. 3~No. 46 [mg/L] 」,「No. 50~No. 51 [度] 」,「No. 2及びNo. 47~No. 49 [単位なし] 」	51	濁度												2	-	-		
			9	11	51	11	11	24	11	9	22	9 9	22	項目数]	注)各検3	査項目の単位は、	「No.1 [/mL]」, 「No.3~No.46 [mg/L]」, 「No.50~No.51 [度]」, 「No.2及びNo.47~No.49 [単位なし]」

水道施設名 : 薩摩川内市 川内地域 (永利)

<採水地点:永利地区コミュニティセンター>

	水道施設名	隆摩	MIN	ф	מות	地域		(利)									永利地区コミュニティセンタ <i>ー</i> >
No	項目			^=				検査頻		-14-	^=		基準値	頻度源		2022/01/01~	理由
<u> </u>								10月 1						① 1/5	(2) 1/10	3年間の最大値	
1	一般細菌	0	0	0		0							100	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
2	大腸菌	0	0	0	0	0	0	0) C	0	0	0	検出されないこと	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	カドミウム及びその化合物			0					_	_			0. 003	0. 0006	0. 0003		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	水銀及びその化合物			0									0. 0005	0.00010	0.00005		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	セレン及びその化合物			0									0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	鉛及びその化合物			0									0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ヒ素及びその化合物			0									0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査 (水道法: 1回/3年)
	六価クロム化合物			0									0. 02	0.004	0. 002		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	亜硝酸態窒素			0									0. 04	0.008	0.004		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
10	シアン化物イオン及び塩化シアン			0			0		C			0	0. 01	-	-	0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素			0			0		C)		0	10	2. 0	1.0	0. 4	検査回数を減らすことのできる項目ですが地域性を考慮し安全確認のため1年に4回の検査
12	フッ素及びその化合物			0									0.8	0.16	0.08	0. 10	過去の最大値が頻度減の①以下のため1年に1回の検査(水道法:1回/1年)
13	ホウ素及びその化合物			0									1.0	0. 2	0. 1	0.1未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
14	四塩化炭素			0									0. 002	0.0004	0.0002	0.0002未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
15	1, 4-ジオキサン			0									0. 05	0.010	0. 005	0.005未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
16	シスー1, 2ージクロロエチレン及びトランスー1, 2ージクロロエチレン			0									0. 04	0.008	0.004	0.004未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
17	ジクロロメタン			0									0. 02	0.004	0.002	0.002未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
18	テトラクロロエチレン			0									0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
19	トリクロロエチレン			0									0. 01	0.002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
20	ベンゼン			0									0. 01	0.002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	塩素酸			0			0		C)		0	0. 6	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	クロロ酢酸			0			0					0	0. 02	_	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	クロロホルム			0			0			_		0	0.06	_	_		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ジクロロ酢酸			0			0					0	0.00			1 11 1	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	<u>ジブロモクロロメタン</u>			0			0					0	0.03	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	臭素酸			0			0					0	0. 1				検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
				0								0	0.01	-	-	1 11 1	
	総トリハロメタン						0							-	-	1 11 1	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	トリクロロ酢酸			0			0		C			0	0. 03	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ブロモジクロロメタン			0			0		C			0	0. 03	-	-	1 11 1	検査回数を減らすことができない項目のため 1 年に 4 回以上の検査 (水道法: 4 回 / 1 年)
	ブロモホルム			0			0		C	_		0	0. 09	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ホルムアルデヒド			0			0		C)		0	0. 08	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	亜鉛及びその化合物			0									1.0	0. 20	0. 10		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
33	アルミニウム及びその化合物			0									0. 2	0. 04	0. 02	0.02未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	鉄及びその化合物			0									0. 3	0.06	0.03		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
35	銅及びその化合物			0									1.0	0. 20	0.10	0.01未満	過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
36	ナトリウム及びその化合物			0									200	40.0	20.0	9. 3	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
37	マンガン及びその化合物			0									0. 05	0.010	0.005	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
38	塩化物イオン	0	0	0	0	0	0	0) (0	0	0	200	-	-	6. 4	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)			0									300	60	30	47	過去の最大値が頻度減の①以下のため1年に1回の検査(水道法:1回/1年)
_	蒸発残留物			0	İ					İ		İ	500	100	50		水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
	陰イオン界面活性剤			ō					1			t	0. 2	0. 04	0. 02		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ジェオスミン			ō					1			<u> </u>	0. 00001	0.000002	0. 000001		検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
	2-メチルイソボルネオール			0	t				-	1			0. 00001	0. 000002	0. 000001		検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
	非イオン界面活性剤			0	 				_	+		t	0. 00001	0. 004	0. 000		水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
	チュインが回位に利 フェノール類			0	1					-		 	0.02	0.004	0. 0005		が、水が同とに変化が多く過去の検査和未が整準値の1/2を超えているい為、水道法池1が規則第10未第1項第4号に整づさ省略。 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0	0	0	0	0	0	0) C	0	0	0	0.000	0. 0010	-		過去の数入値が頻度減めでありた9 が女主を考慮して中に「回以上の検査(水道法・「回グ 3 中) 検査回数の減不可のため毎月検査 (水道法:毎月)
47	pH値	0	0	0	0	0			5 0		_		5.8 ~ 8.6	-			検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	味	0	0	0	0	0							5.8 ~ 8.0 異常でないこと	-	-		
				_										-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	臭気	0	0	0	0	0	0) (0	異常でないこと	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	色度	0	0	0		0	0) (5	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
51	濁度	0	0	0	0	0	0) (_	0	2	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
		9	9	51	9	9	22	9	9 2	9	9	22	項目数		汪) 各検3	査項目の単位は、	「No.1 [/mL]」, 「No.3~No.46 [mg/L]」, 「No.50~No.51 [度]」, 「No.2及びNo.47~No.49 [単位なし]」

水道施設名 : 薩摩川内市 川内地域 (中福良)

<採水地点:柿田中継ポンプ場>

### Part		水道施設名 :	隆摩	צאווע	ΠJ	מווע	地域		中福」									市田中継ポンプ場>
機関性	No	項目	40			175					100			基準値			2022/01/01~	理由
2 大きな														Я		(2) 1/10		·
3 かといったいたらも 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0																-		
4 声響と子の色色巻			O	O		0	O	O	O	O	O	O	O					
8								-										
原数化や色色像																		
Pacific Processes	_																1	
内容の心に合物	6							L_			_					l		
野林野楽者	/					1		0			0			_				
10	_																	
1																0. 004		
2														_		-		
30 大きなどのたち物								0			0							
14 日本の表示																		
5 1 - 1 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 -		ホウ素及びその化合物																
16	14													0.00	0.0004	0.0002	0.0002未満 🕹	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法: 1回/3年)
17 プロフィンシ 17 17 プロロインシ 17 18 18 18 18 18 18 18																		
18																		
9 トリクロロエチレン	17	ジクロロメタン			0									0. 0	0.004	0.002	0.002未満 並	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
20	18	テトラクロロエチレン			0									0.0	0.002	0.001	0.001未満 並	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
2 内面静態	19	トリクロロエチレン			0									0.0	0.002	0.001	0.001未満 並	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
2 クロロホルム	20	ベンゼン			0									0.0	0.002	0. 001	0.001未満 並	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
20 日の中小山	21	塩素酸			0			0			0			O. (i -	-	0.12 相	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
28 月の日本ルム	22	クロロ酢酸			0			0			0			0.0	2 -	-	0.002未満 村	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
26	23	クロロホルム			0			0			0			0.00	3 -	-		
28 長男師	24	ジクロロ酢酸			0			0			0			0.0	3 -	-	0.003未満 村	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
28 長男師	25	ジブロモクロロメタン			0			0			0			0.	1 -	-	0.001未満 村	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
2															1 -	-		
28 トリクロ国新館																-		
29																-	1 11 11 11	
30 プロモルルム 31 ボルムアルドド 32 頭形などその化合物 33 アルミーウム及びその化合物 4 飲みびその化合物 5 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O		111111																
11																_		
22																_		
33 アルミーウム及びその化合物																0.10		
数数であった 数数を使いす 数数であった 数数であった 数数を使い 数数を使い 数数であった 数数であった 数数であった 数数であった 数数であった 数数であった 数数であった 数数であった 数数であった 数数であった 数数を使い 数数を使い 数数を使い 数数であった 数数であった 数数であった 数数を使い 数数を使い 数数を使い 数数を使い 数数であった 数数であった 数数を使い 数数を使い 数数を使い 数数であった 数数であった 数数を使い 数数を使い 数数を使い 数数を使い 数数を使い 数数を使い 数数であった 数数を使い 数数を使い 数数であった 数数を使い 数数を使い 数数を使い 数数を使い 数数を使い 数数を使い 数数を使い 数数を使い 数数を使い 数数であった 数数を使い 数数を使い 数数を使い 数数であった 数数を使い 数数を使い 数数を使い 数数を使い 数数を使い 数数を使い 数数であった 数数を使い 数数を使い 数数であった 数数を使い 数数を使い 数数を使い 数数であった 数数を使い 数数を使い 数数を使い 数数であった 数数を使い 数数を使い 数数であった 数数を使い						1												
5																		
36 ナトリウム及びその化合物 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇																		
37 マンガン及びその化合物						1	-	-								l		
38 塩化物イオン 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇						1					-						1	
39 カルシウム、マグネシウム等(硬度) O S S S S S S S S S S S S S S S S S S			\circ				0		\circ	\circ	\sim	\circ	\sim			0.003		
40 蒸発残留物 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			O	0		U	U	U	O	U	U	U	U	_		- 20		
41 除イオン界面活性剤 O D D D D D D D D D D D D D D D D D D D						1											+	
42 ジェオスミン O <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>								-										
43 2-メチルイソボルネオール O																		
44 非イオン界面活性剤 O		-						ļ										
45 フェノール類 O																		
46 有機物(全有機炭素(TOC)の量) O O O O O O O O O O O O O O O O O O O																		
47 DH値 O<		***													0.0010			
48 味 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O															3 -	-		
49 臭気 O			0													-		
50 色度 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O		*11:	0												-	-		
51 濁度 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O														□ 異常でないこと	-	-	異常なし	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
					0) (5 -	-	0.5未満 村	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
9 9 51 9 9 23 9 9 23 9 9 23 項目数 注)各検査項目の単位は、「No.1 [/mL]」,「No. 3~No. 46 [mg/L]」,「No.50~No.51 [度]」,「No. 2及びNo. 47~No. 49 [単位なし]」	51	濁度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0) :	2 -	-	0.2未満 村	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
			9	9	51	9	9	23	9	9	23	9	9	23 項目数	Ţ	注) 各検	査項目の単位は、	「No.1 [/mL] 」, 「No.3~No.46 [mg/L] 」, 「No.50~No.51 [度] 」, 「No.2及びNo.47~No.49 [単位なし] 」

水道施設名 : 薩摩川内市 川内地域 (百次)

<採水地点:宮崎原自治会館>

	水道施設名	隆厚	אוועו	Ф	מות	地域		5次)									宮崎原目治会館>
No	項目			^=				検査頻			4 - 1		基準値			2022/01/01~	理由
⊢											1月 2月			① 1/5	(2) 1/10	3年間の最大値	·
1	一般細菌	0	0	0		0		0			0 0			-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
2	大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	検出されないこと	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
3	カドミウム及びその化合物			0									0. 003	0. 0006	0.0003		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
4	水銀及びその化合物			0									0. 0005	0.00010	0.00005		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
5	セレン及びその化合物			0									0. 01	0.002	0.001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
6	鉛及びその化合物			0									0. 01	0.002	0. 001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
7	ヒ素及びその化合物			0									0. 01	0.002	0.001	0. 002	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
8	六価クロム化合物			0									0. 02	0.004	0.002	0.002未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
9	亜硝酸態窒素			0									0.04	0.008	0.004	0.004未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
10	シアン化物イオン及び塩化シアン			0			0			0		0	0. 01	-	-	0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素			0			0			0		0	10	2. 0	1.0	0. 1	検査回数を減らすことのできる項目ですが地域性を考慮し安全確認のため1年に4回の検査
	フッ素及びその化合物			0									0.8	0. 16	0. 08		過去の最大値が頻度減の①以下のため1年に1回の検査(水道法:1回/1年)
	ホウ素及びその化合物			Ō	l								1.0	0. 2	0. 1		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
_	四塩化炭素			0									0, 002	0.0004	0. 0002		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	1, 4-ジオキサン			0						-			0.05	0.010	0. 005		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
16	1, 4-ンオ イッン シス-1, 2-ジクロロエチレン及びトランス-1, 2-ジクロロエチレン			0					-+	-		+	0.03	0.010	0.003		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ジクロロメタン			0	1				-	-		+	0.04	0.008	0.004		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
				0									0. 02	0.004	0. 002		
19	テトラクロロエチレン											-		0.002			過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	トリクロロエチレン			0	<u> </u>					_		-	0. 01		0. 001		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ベンゼン			0						_			0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	塩素酸			0			0			0		0	0. 6	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	クロロ酢酸			0			0			0		0		-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査 (水道法:4回/1年)
	クロロホルム			0			0			0		0		-	-	2 12 2	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
24	ジクロロ酢酸			0			0			0		0		-	-	0.003未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法: 4回/1年)
25	ジブロモクロロメタン			0			0			0		0	0. 1	-	-	0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
26	臭素酸			0			0			0		0	0. 01	-		0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
27	総トリハロメタン			0			0			0		0	0. 1	-	-	0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
28	トリクロロ酢酸			0			0			0		0	0. 03	-	-	0.003未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
29	ブロモジクロロメタン			0			0			0		0	0. 03	-	-	0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
30	ブロモホルム			0			0			0		0	0.09	_	_	0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ホルムアルデヒド			0			0			ō		0	0. 08	_	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	亜鉛及びその化合物			0						_			1.0	0. 20	0. 10		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	アルミニウム及びその化合物			0					_ t	1			0. 2	0.04	0. 02		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
_	鉄及びその化合物			0	-					-		+	0. 3	0.06	0. 03		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	銅及びその化合物			0									1.0	0. 20	0. 10		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
36				0	<u> </u>								200	40. 0	20. 0		
	ナトリウム及びその化合物								_	-		-					過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	マンガン及びその化合物		_	0			_		_	_	0 0		0. 05	0. 010	0. 005		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	塩化物イオン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	200	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)			0	<u> </u>								300	60	30		過去の最大値が頻度減の①以下のため1年に1回の検査(水道法:1回/1年)
40	蒸発残留物			0	ļ							1	500	100	50		水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
	陰イオン界面活性剤			0									0. 2	0.04	0. 02		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
42	ジェオスミン			0									0. 00001	0.000002	0.000001	0.000001未満	検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
43	2-メチルイソボルネオール	L		0					T	T			0. 00001	0.000002	0.000001	0.000001未満	検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
44	非イオン界面活性剤			0									0. 02	0.004	0. 002	0.005未満	水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
45	フェノール類			0									0. 005	0.0010	0. 0005		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	3	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
47	pH値	0	0	0	0	0				_	0 0			_	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
48	味	0	0	0	0	0	0				0 0		異常でないこと	_	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	臭気	0	0	0	0	0	0				0 0		異常でないこと		-		
50	色度	0	0	0	0	0	0				0 0			-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	<u>世</u> 屋 濁度	0	0	0	0	0	0				0 0		3	-			検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月) 検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
01	/判汉	9	9	51	_	9	22			_	9 9	22	項目数	-	÷\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		快登回数の減不可のため毎月快登(水道法・毎月) 「No.1 [/mL] 」, 「No.3~No.46 [mg/L] 」, 「No.50~No.51 [度] 」, 「No.2及びNo.47~No.49 [単位なし] 」
		У	9	IJΙ	9	9	LL	y	J .	L L	9 9	22	垻日剱	I	ユ /合快1	直項目の単位は、	・мо. т [/ וווב] 」, ・мо. 3~мо. 40 [lilg/L]] , ・мо. 50~мо. 51 [及]] , ・мо. 2Д О-мо. 47~мо. 49 [単位なし]]

水道施設名 : 薩摩川内市 川内地域 (百次 【木場茶屋】) <採水地点:木場茶屋集会所>

	水道施設名 :	薩摩	川内	帀	川内			百次		身 茶屋	([<採水地点:7	木場茶屋集会所>
No	項目							検査頻					基準値			2022/01/01~	理由
110											月 2月			① 1/5	2 1/10	3年間の最大値	·
1	一般細菌	0	0	0	0	0	0	0	0) (100	-	-	0	検査回数の滅不可のため毎月検査(水道法:毎月)
2	大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	検出されないこと	-	-	検出されない	検査回数の滅不可のため毎月検査(水道法:毎月)
3	カドミウム及びその化合物			0									0.003	0.0006	0.0003	0.0003未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
4	水銀及びその化合物			0									0.0005	0.00010	0.00005	0.00005未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
5	セレン及びその化合物			0									0. 01	0.002	0. 001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
6	鉛及びその化合物			0									0. 01	0.002	0.001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
7	ヒ素及びその化合物			0									0. 01	0. 002	0. 001	0. 002	過去の最大値が頻度減の①以下のため1年に1回の検査(水道法:1回/1年)
8	六価クロム化合物			0									0. 02	0.004	0. 002	0.002未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	亜硝酸態窒素			0									0. 04	0.008	0.004		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	シアン化物イオン及び塩化シアン			0			0			2		0	0. 01	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素			0			0			5		0	10	2. 0	1. 0		検査回数を減らすことのできる項目ですが地域性を考慮し安全確認のため1年に4回の検査
	フッ素及びその化合物			0						_		Ť	0.8	0. 16	0. 08		過去の最大値が頻度減の①以下のため1年に1回の検査(水道法:1回/1年)
	ホウ素及びその化合物			0							-		1.0	0. 2	0.1		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	四塩化炭素			0				-					0. 002	0. 0004	0. 0002		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	1, 4-ジオキサン			0					-+	+		1	0.002	0.0004	0. 0002		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
10	1, 4-ンオ キザン シス-1, 2-ジクロロエチレン及びトランス-1, 2-ジクロロエチレン			00					-+	-	-	1	0.05	0.010	0.005		
17		-		00	-	-			-+	-	-	-	0. 04	0.008	0.004		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ジクロロメタン	 			 			<u></u>		+	+	 		0.004			過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	テトラクロロエチレン			0						_			0. 01		0.001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
19	トリクロロエチレン			0						_		-	0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ベンゼン			0									0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	塩素酸			0			0			O		0	0. 6	-	-	 	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	クロロ酢酸			0			0			O		0	0. 02	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	クロロホルム			0			0			O		0	0.06	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
24	ジクロロ酢酸			0			0			2		0	0. 03	-	-	0.003未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
25	ジブロモクロロメタン			0			0			C		0	0. 1	-	-	0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
26	臭素酸			0			0			C		0	0. 01	-		0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
27	総トリハロメタン			0			0			C		0	0. 1	-		0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
28	トリクロロ酢酸			0			0			2		0	0. 03	-	-	0.003未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
29	ブロモジクロロメタン			0			0			2		0	0. 03	-	-	0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
30	ブロモホルム			0			0			2		0	0.09	-	-	0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
31	ホルムアルデヒド			0			0			2		0	0. 08	_	-	0.008未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
32	亜鉛及びその化合物			0									1. 0	0. 20	0. 10		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	アルミニウム及びその化合物			0									0. 2	0. 04	0. 02		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	鉄及びその化合物			0									0. 3	0.06	0. 03		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	銅及びその化合物			0									1. 0	0. 20	0. 10		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ナトリウム及びその化合物			0					-				200	40. 0	20. 0		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	マンガン及びその化合物			0									0. 05	0.010	0. 005		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	塩化物イオン	0	0	0	0		0	0	\circ	O	0 0	0	200	0.010	0.003		過去の数へ適か。例及減めであってもあります。 検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	U	0	0	U	U	0	0	0) 0	U	300	- 60	30		後重回数の成不可のにの毎月候重(小道法・毎月) 過去の最大値が頻度減の①以下のため1年に1回の検査(水道法:1回/1年)
															50		
40	蒸発残留物	-		0	-					-		1	500	100			水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
	陰イオン界面活性剤			0								1	0. 2	0.04	0.02		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ジェオスミン			0					_	\perp	_	1	0. 00001	0.000002	0.000001		検査回数の滅不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
	2-メチルイソボルネオール			0						\perp			0. 00001	0.000002	0.000001		検査回数の滅不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
	非イオン界面活性剤			0					_				0. 02	0. 004	0. 002		水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
	フェノール類			0									0. 005	0.0010	0. 0005		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0	0	0	0	0	0				0	0	3	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
47	pH値	0	0	0	0	0	0) (-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
48	味	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	異常でないこと	-		異常なし	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
49	臭気	0	0	0	0	0	0	0	0) C	0	0	異常でないこと	-	-	異常なし	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
50	色度	0	0	0	0	0	0				0		5	-	-	0.5未満	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
51	濁度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	-	-	0.2未満	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
		9	9	51	9	9	22	9	9	22 9	9	22	項目数		注)各検3	査項目の単位は、	「No. 1 [/mL] 」, 「No. 3~No. 46 [mg/L] 」, 「No. 50~No. 51 [度] 」, 「No. 2及びNo. 47~No. 49 [単位なし] 」

水道施設名 : 薩摩川内市 川内地域 (石神) <探水地点:草原公民館>

_	水道施設名 :	薩摩	川内	市	川内:	地域		5神)								<探水地点:1	草原公民館>
No	項目							検査頻					基準値	頻度源		2022/01/01~	理由
110			5月					10月 1						① 1/5	2 1/10	3年間の最大値	·
1	一般細菌	0	0	0	0	0	0	0	0		0		100	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
2	大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	0) C	0	0	検出されないこと	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
3	カドミウム及びその化合物			0									0. 003	0.0006	0.0003		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
4	水銀及びその化合物			0									0. 0005	0.00010	0.00005		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
5	セレン及びその化合物			0									0. 01	0. 002	0. 001	0.001未満:	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
6	鉛及びその化合物			0									0. 01	0. 002	0. 001	0.001未満:	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
7	ヒ素及びその化合物			0									0. 01	0.002	0.001	0. 002	過去の最大値が頻度減の①以下のため1年に1回の検査(水道法:1回/1年)
8	六価クロム化合物			0									0. 02	0.004	0.002	0.002未満:	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
9	亜硝酸態窒素			0									0. 04	0.008	0.004	0.004未満:	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
10	シアン化物イオン及び塩化シアン			0			0			2		0	0. 01	-	-	0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素			0			0			Э		0	10	2. 0	1.0	1.9	検査回数を減らすことのできる項目ですが地域性を考慮し安全確認のため1年に4回の検査
12	フッ素及びその化合物			0									0.8	0. 16	0. 08	0. 13	過去の最大値が頻度減の①以下のため1年に1回の検査(水道法:1回/1年)
	ホウ素及びその化合物			0									1.0	0. 2	0. 1	0.1未満:	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	四塩化炭素			0									0. 002	0. 0004	0. 0002	0.0002未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	1, 4-ジオキサン			ō					-				0. 05	0.010	0, 005		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
16	シスー1, 2ージ クロロエチレン及びトランスー1, 2ージ クロロエチレン			0									0.04	0.008	0. 004		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
17	ジクロロメタン			0									0. 02	0.004	0. 002		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	テトラクロロエチレン	 		0	\vdash			-+	-+	\dashv	+	 	0. 01	0.004	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
19	トリクロロエチレン			0									0. 01	0.002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ベンゼン			0									0.01	0. 002	0.001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	塩素酸			0			0			O		0	0. 01	-	-		過去の数入値が頻度減の必め下ですが女主で考慮して平に「回め上の検査(水道法:4回/1年)検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	クロロ酢酸			0			0			5		0	0. 0	-			検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	クロロホルム			0			0			5		0	0.02		-		
				0			0			5		0	0.06	-			検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ジブロエカロロノカン													-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ジブロモクロロメタン			0			0			2		0	0.1	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	臭素酸			0			0			C		0	0.01	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	総トリハロメタン			0			0			Э _		0	0.1	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
28				0			0			O		0	0. 03	-	-	1 11 1	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ブロモジクロロメタン			0			0			O		0	0. 03	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ブロモホルム			0			0			O		0	0. 09	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ホルムアルデヒド			0			0			С		0	0. 08	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	亜鉛及びその化合物			0									1. 0	0. 20	0. 10		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
33	アルミニウム及びその化合物			0									0. 2	0.04	0. 02	0.02未満:	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
34	鉄及びその化合物			0									0. 3	0.06	0. 03	0.03未満:	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
35	銅及びその化合物			0									1.0	0. 20	0.10	0.01未満:	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
36	ナトリウム及びその化合物			0									200	40.0	20.0	12. 8	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
37	マンガン及びその化合物			0									0. 05	0.010	0.005	0.001未満:	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
38	塩化物イオン	0	0	0	0	0	0	0	0	O (0	0	200	-	-	7. 3	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)			0									300	60	30	44	過去の最大値が頻度減の①以下のため1年に1回の検査(水道法:1回/1年)
40	蒸発残留物			0									500	100	50		水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
	陰イオン界面活性剤			Ō				<u> </u>		1			0. 2	0. 04	0. 02		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ジェオスミン			ō									0. 00001	0. 000002	0. 000001		検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
	2-メチルイソボルネオール			0					\dashv			1	0. 00001	0. 000002	0. 000001		検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
	非イオン界面活性剤			0		1		-+	\dashv	+		1	0.00001	0. 004	0. 002		水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
	フェノール類			0						-			0.005	0.0010	0.0005		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0	0	0	0	0	0	0	0) C	0 0	0	0.000	0.0010	0.0000		過去の数へ適か別及成の位が下ですが女主で考慮して平に「回め上の快量(水道法・1回グ 3 平) 検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
47	pH値	0	0	0	0	0	0						5.8 ~ 8.6		-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
47	味	0	0			0	0						5.8 ~ 8.6 異常でないこと	-			
	-			0	0									-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	臭気	0	0	0	0	0	0	0			0		異常でないこと	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
50	色度	0 0	0	0	0	0	0				0		5	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
51	濁度	0	0	0	0	0	0				0 0		2	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
		9	9	51	9	9	22	9	9	22 9	9	22	項目数		注)各検3	査項目の単位は、	「No.1 [/mL] 」, 「No.3~No.46 [mg/L] 」, 「No.50~No.51 [度] 」, 「No.2及びNo.47~No.49 [単位なし] 」

水道施設名 : 薩摩川内市 川内地域 (高江)

<採水地点:峰山地区コミュニティセンター>

	水道施設名 :	薩摩	אוועו	ф	ΜМ	地域											峰山地区コミュニティセンター>
No	項目	4.5		^=				検査頻			4 - 1		基準値			2022/01/01~	理由
											1月 2月			① 1/5	(2) 1/10	3年間の最大値	·
1	一般細菌	0	0	0		0					0 0			-	-		検査回数の滅不可のため毎月検査(水道法:毎月)
2	大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	検出されないこと	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
3	カドミウム及びその化合物			0									0. 003	0. 0006	0.0003		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	水銀及びその化合物			0									0. 0005	0.00010	0.00005		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
5	セレン及びその化合物			0									0. 01	0.002	0.001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
6	鉛及びその化合物			0									0. 01	0.002	0. 001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
7	ヒ素及びその化合物			0									0. 01	0.002	0.001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
8	六価クロム化合物			0									0. 02	0.004	0.002	0.002未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
9	亜硝酸態窒素			0									0.04	0.008	0.004	0.004未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
10	シアン化物イオン及び塩化シアン			0			0			0		0	0. 01	-	-	0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素			0			0			0		0	10	2. 0	1.0	0. 4	検査回数を減らすことのできる項目ですが地域性を考慮し安全確認のため1年に4回の検査
12	フッ素及びその化合物			0									0.8	0.16	0. 08	0.08未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ホウ素及びその化合物			0									1.0	0. 2	0.1		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	四塩化炭素			Ō									0, 002	0.0004	0. 0002		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	1, 4-ジオキサン			0						1			0.05	0.010	0. 005		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
16	シスー1, 2ージ クロロエチレン及びトランスー1, 2ージクロロエチレン			0	1							1	0.00	0.008	0.004		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ジクロロメタン	1	1	0					-	-		+	0.04	0.004	0.004		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	テトラクロロエチレン			0				-	_	+	_	+	0. 02	0.004	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
19				0						-			0. 01	0.002	0.001		
	トリクロロエチレン	-										-					過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ベンゼン			0						_			0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	塩素酸			0			0			0		0	0.6	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため 1 年に 4 回以上の検査 (水道法: 4 回 / 1 年)
	クロロ酢酸			0			0			0		0		-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	クロロホルム			0			0			0		0		-	-	2 12 2	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査 (水道法: 4回/1年)
	ジクロロ酢酸			0			0			0		0		-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
25	ジブロモクロロメタン			0			0			0		0	0. 1	-	-	0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法: 4回/1年)
26	臭素酸			0			0			0		0		-	-	0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
27	総トリハロメタン			0			0			0		0	0. 1	-	-	0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
28	トリクロロ酢酸			0			0			0		0	0. 03	-		0.003未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
29	ブロモジクロロメタン			0			0			0		0	0. 03	-	-	0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
30	ブロモホルム			0			0			0		0	0. 09	-	-	0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
31	ホルムアルデヒド			0			0			0		0	0. 08	_	_	0.008未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	亜鉛及びその化合物			0									1.0	0. 20	0. 10		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	アルミニウム及びその化合物			ō						_			0. 2	0. 04	0. 02		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	鉄及びその化合物			0									0.3	0.06	0. 03		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	銅及びその化合物			0						-			1.0	0. 20	0. 10		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ナトリウム及びその化合物			0						-			200	40. 0	20. 0		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
				00										0. 010	0. 005		
	マンガン及びその化合物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0. 05 200	0.010	0.005		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	塩化物イオン	U	U		U	U	U	0	0		0 0	U		- 00	- 00		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	カルシウム、マグネシウム等(硬度)			0		 						-	300	60	30		過去の最大値が頻度減の①以下のため1年に1回の検査(水道法:1回/1年)
40	蒸発残留物	<u> </u>		0	-					_		+	500	100	50		水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
	陰イオン界面活性剤			0									0. 2	0.04	0. 02		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ジェオスミン			0					_				0. 00001	0.000002	0.000001		検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
43	2-メチルイソボルネオール			0									0. 00001	0.000002	0.000001	0.000001未満	検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
44	非イオン界面活性剤			0									0. 02	0.004	0.002	0.005未満	水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
45	フェノール類			0					[[0. 005	0.0010	0.0005	0.0005未満	過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	3	-	-	0. 6	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
47	pH値	0	0	0	0	0	0			0	0 0	0	5.8 ~ 8.6	-	-	7. 8	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
48	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	0	0	0	0	0	0				0 0		異常でないこと	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	臭気	0	0	0	0	0	0				0 0			_	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
50	色度	0	0	0	0	0	0				0 0			_			検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	温度	0	0	0	0	0	0				0 0		2	_	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
_ J.	17.0	9	9	51	9	9	22			_	9 9	22	項目数		注) 各垛2		「No. 1 [/mL] 」, 「No. 3~No. 46 [mg/L] 」, 「No. 50~No. 51 [度] 」, 「No. 2及びNo. 47~No. 49 [単位なし] 」
		<u> </u>	,	V I		J	~~	·	·		0 0	- 44	スロ双	ı	/工/ 口 火」	ログロハナロは、	· no. 1 [/ mc]] , · no. 4 no. 40 [mg/E]] , · no. 50 no. 7 [元]] , · no. 2次 Ono. 47 - no. 45 [千世な []]

水道施設名 : 薩摩川内市 川内地域 (土川)

〈採水地点:土川集会所〉

##		水道施設名 :	海季	מווע	Π	אוויג	地域		土川)									<採水地点:	エ川泉芸所 /
機関係	No	項目	40			7-					100	10			基準値			2022/01/01~	
2 大きな																① 1/5	(2) 1/10		
3 かといったの任命性																-	-		
4 声楽と子の色色色			O	O		O	O	O	O	O	0	O	O	O 模		- 0000			
8 使込みできたと称。																			
原数化や色色像						_													
Pack Pack	_																		
大名の人に合物	6																		
野林神楽者	7																		
10	_																		
1																0. 008	0. 004		
2																-	-		
30 大きなどのたち物	11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素						0			0			0					検査回数を滅らすことのできる項目ですが地域性を考慮し安全確認のため1年に4回の検査
14 日本の表現																			
15 1 - 1 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 -	13	ホウ素及びその化合物													1.0				過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
10	14	四塩化炭素			0										0.002	0.0004	0.0002	0.0002未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
17 プロフィンシ	15	1, 4-ジオキサン													0. 05				過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法: 1回/3年)
18	16	シスー1, 2ージ クロロエチレン及びトランスー1, 2ージクロロエチレン													0. 04	0.008	0.004	0.004未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法: 1回/3年)
9 トリクロロエチレン	17	ジクロロメタン			0										0. 02	0.004	0. 002	0.002未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
9 トリクロロエチレン	18	テトラクロロエチレン			0										0. 01	0. 002	0. 001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
2	19	トリクロロエチレン			0										0. 01	0.002	0.001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
2 クロロホルム	20	ベンゼン			0										0. 01	0. 002	0. 001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
20	21	塩素酸			0			0			0			0	0. 6	-	-	0. 32	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
20 日の中小山																-	-		
24					C			0						0	0. 06	-	_		
2						1									0. 03	-	-	2 12 2	
28 長男師																-	-		
2																			
28 トリクロ国新館																		3 13 3	
29																			
30 プロモルルム 31 ボルムアルドド 32 頭形などその化合物 33 アルミーウム及びその化合物 4 飲みびその化合物 5 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O		111111																	
11						1													
22																			
33 アルミーウム及びその化合物																0.20	0.10		
数数であった合物																			
個別のである											-								
36 ナトリウム及びその化合物 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇											-								
37 マンガン及びその化合物						1	-				-+								
38 塩化物イオン 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇						1													
39 カルシウム、マグネシウム等(硬度) O S S S S S S S S S S S S S S S S S S			_	0		_	^	_	_	_	\sim	$\overline{}$	^	_		0.010	0.005		
40 蒸発残留物 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			O	O		O	O	O	O	0	0	O	O	0		-	-		
41 除イオン界面活性剤 O D D D D D D D D D D D D D D D D D D D																			
42 ジェオスミン O <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td><u> </u></td><td> </td><td></td><td>_</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>						1		<u> </u>	 		_								
43 2-メチルイソボルネオール O						1		<u> </u>			_								
44 非イオン界面活性剤 O		-				1	-		 		_			_					
45 フェノール類 O						<u> </u>		L	L										
46 有機物(全有機炭素(TOC)の量) O O O O O O O O O O O O O O O O O O O								<u> </u>						_					
47 DH値 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O		***													0. 005	0. 0010			
48 味 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O															3	-	-	+	
49 臭気 O		pH値	0													-	-	8. 1	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
50 色度 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O		*11:	0													-	-		
51 濁度 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	〇 異	常でないこと	-	-	異常なし	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
					0									0	5		-	0.5未満	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
9 9 51 9 9 22 9 9 9 22 9 9 9 22 項目数 注)各検査項目の単位は、「No.1 [/mL]」,「No.3~No.46 [mg/L]」,「No.50~No.51 [度]」,「No.2及びNo.47~No.49 [単位なし]」	51	濁度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	-	-	0.2未満	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
			9	9	51	9	9	22	9	9	22	9	9	22	項目数		注)各検	査項目の単位は、	「No.1 [/mL]」, 「No.3~No.46 [mg/L]」, 「No.50~No.51 [度]」, 「No.2及びNo.47~No.49 [単位なし]」

水道施設名 : 薩摩川内市 川内地域 (湯田)

<採水地点:峠路加圧ポンプ室>

No 項目	
1 一般細菌 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	
2 大陽菌 O </th <th></th>	
3 カドミウム及びその化合物 O 0.003 0.0006 0.0003 0.0003未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(4 水銀及びその化合物 O 0.0005 0.0001 0.00005 0.00005 0.00005 0.00005未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(
4 水銀及びその化合物 0.0005 0.00010 0.00005 0.00005未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(
7 ヒ素及びその化合物 0.01 0.002 0.001 0.001未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(
8 六価クロム化合物 0.002 0.004 0.002 0.002未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(
9 亜硝酸態窒素 0.04 0.008 0.004 0.004 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(
10 シアン化物イオン及び塩化シアン	
11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 O O 10 2.0 1.0 0.1 検査回数を減らすことのできる項目ですが地域性を考慮し安全確認のため1	
12 フッ素及びその化合物 O 0.8 0.16 0.08 0.08未満 過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(
13 ホウ素及びその化合物 日 日 日 日 日 日 日 日 日	
14 四塩化炭素 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	
15 1,4-ジオキサン O 0.05 0.010 0.005 0.005未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(
16 ½1-1, 2-ジ クロロユテトン及びトランス-1, 2-ジ クロロユテトン 及びトランス-1, 2-ジ クロロユテトン 及びトランス-1, 2-ジ クロロユテトン 及びトランス-1, 2-ジ クロロユテレン O 0, 004 0, 008 0, 004 0, 004 0, 004 0, 004 0, 004 0, 004 0, 005 0, 004 0, 005 0, 004 0, 005	
17 ジクロロメタン O 0.02 0.02 0.002 0.002 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法∶1回/3年)
18 テトラクロロエチレン O 0.01 0.01 0.001 <t< td=""><td></td></t<>	
19 トリクロロエチレン O 0.01 0.01 0.001	水道法:1回/3年)
20 ペンゼン O 0.01 0.01 0.001 0.001 0.001 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
21 塩素酸 O O O O.14 検査回数を減らすことができない項目のため 1 年に 4 回以上の検査 (水道法	: 4回/1年)
22 クロロ酢酸 O O O O 0.02 - 0.002未満 検査回数を減らすことができない項目のため 1 年に 4 回以上の検査 (水道法	: 4回/1年)
23 クロロホルム O O O O 0.06 0.001未満 検査回数を減らすことができない項目のため 1 年に 4 回以上の検査 (水道法	:4回/1年)
24 ジクロロ酢酸 O O O O O 0.03 0.003未満 検査回数を減らすことができない項目のため 1 年に 4 回以上の検査 (水道法	:4回/1年)
25 ジブロモクロロメタン O O O 0.1 0.004 検査回数を減らすことができない項目のため 1 年に 4 回以上の検査 (水道法	:4回/1年)
26 臭素酸 O O O O 0.01 0.001未満 検査回数を減らすことができない項目のため 1 年に 4 回以上の検査 (水道法	:4回/1年)
27 総トリハロメタン O O O O 0.1 0.009 検査回数を減らすことができない項目のため 1 年に 4 回以上の検査 (水道法	:4回/1年)
28 トリクロロ酢酸 〇 〇 〇 〇 〇 〇 0.03 0.003未満 検査回数を減らすことができない項目のため 1 年に 4 回以上の検査 (水道法	: 4回/1年)
29 プロモジクロロメタン O O O 0.03 0.001 検査回数を減らすことができない項目のため 1 年に 4 回以上の検査 (水道法	
30 プロモホルム O O O O 0.09 0.004 検査回数を減らすことができない項目のため 1 年に 4 回以上の検査 (水道法	: 4回/1年)
31 ホルムアルデヒド 〇 〇 〇 〇 〇 〇 0.08 0.008未満 検査回数を減らすことができない項目のため 1 年に 4 回以上の検査 (水道法	
32 亜鉛及びその化合物 0.01未満 過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(
33 アルミニウム及びその化合物 〇 0.2 0.04 0.02 0.02未満過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(
34 鉄及びその化合物 0.3 0.06 0.03 0.03末満過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(
35 個及びその化合物	
36 ナトリウム及びその化合物 O 200 40.0 20.0 17.5 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(
60 フィックスはいっていた日初	
38 塩化物イオン	
30 30 30 30 30 30 30 30	送注体行用則第15条第1項第4 只に 其づき火敗
39 ガルジウム、マクネンウム寺(硬度) 0 30 30 30 N派周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水 40 蒸発残留物 0 184 水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水	
43 2-メチルイソボルネオール O 0.00001 0.000001 0.000001 0.000001 0.000001未満 検査回数の滅不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きま	
44 非イオン界面活性剤 0.02 0.004 0.002 0.005未満 水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水	
45 フェノール類 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	水道法・1回/3年)
46 有機物(全有機炭素(TOC)の量) O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	
47 pH値 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	
48 味 O O O O O O O O O O D O O D O O D D O O D D O O D	
49 臭気 O O O O O O O O O O O Q 異常でないこと - 異常なし 検査回数の減不可のため毎月検査 (水道法:毎月)	
50 色度 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	
51 濁度 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	
	i] 」, I No.2及びNo.47~No.49 [単位なし] 」

水道施設名 : 薩摩川内市 川内地域 (寄田【久見崎】) <探水地点:湯島公園>

	水道施設名 :	薩摩	川内	市	川内:	地域		5田【		奇】)						〈探水地点:》	湯島公園>
No	項目							検査頻					基準値			2022/01/01~	理由
NO			5月								月 2月			① 1/5	2 1/10	3年間の最大値	·
1	一般細菌	0	0	0	0	0	0	0	0		0		100	-	-	0	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
2	大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0 0	0	検出されないこと	-	-	検出されない	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
3	カドミウム及びその化合物			0									0.003	0.0006	0.0003	0.0003未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
4	水銀及びその化合物			0									0.0005	0.00010	0.00005	0.00005未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
5	セレン及びその化合物			0									0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
6	鉛及びその化合物			0									0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
7	ヒ素及びその化合物			0									0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
8	六価クロム化合物			0									0. 02	0.004	0. 002		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	亜硝酸態窒素			ō									0. 04	0.008	0. 004		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	シアン化物イオン及び塩化シアン			0			0			0		0	0. 01	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素			0			0			0		0	10	2. 0	1. 0		検査回数を減らすことのできる項目ですが地域性を考慮し安全確認のため1年に4回の検査
_	フッ素及びその化合物			0						_	-	-	0.8	0. 16	0. 08		過去の最大値が頻度減の①以下のため1年に1回の検査(水道法:1回/1年)
	ホウ素及びその化合物			0						-		-	1.0	0.10	0.08		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
				0									0. 002	0. 0004	0. 0002		
	四塩化炭素									_	-						過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
15	1, 4-ジオキサン			0		-				_	_	1	0.05	0.010	0.005		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
16	シスー1, 2ージ クロロエチレン及びトランスー1, 2ージ クロロエチレン	-		0	-	1		\vdash		_	-	1	0.04	0.008	0.004		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ジクロロメタン			0									0. 02	0. 004	0. 002		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	テトラクロロエチレン			0									0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
19	トリクロロエチレン			0									0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
20	ベンゼン			0									0. 01	0.002	0.001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
21	塩素酸			0			0			0		0	0. 6	-	-	0.06	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
22	クロロ酢酸			0			0			0		0	0. 02	-		0.002未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
23	クロロホルム			0			0			0		0	0.06	-	-	0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
24	ジクロロ酢酸			0			0			0		0	0. 03	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
25	ジブロモクロロメタン			0			0			0		0	0. 1	_	-	+	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	臭素酸			0			0			ō		0	0. 01	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	総トリハロメタン			0			0			Ō		Ō	0. 1	_	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
28				0			0			0		0	0. 03	_			検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ブロモジクロロメタン			0			0			0		0	0.03	_	-	1 11 1	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ブロモホルム			0			0			0		0	0.00	_	-	 	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ホルムアルデヒド			0			0			0		0	0.03	_			検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
				0			O			0		U		0, 20	0. 10		
_	亜鉛及びその化合物						-			_		-	1.0				過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	アルミニウム及びその化合物			0						_			0. 2	0.04	0. 02		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	鉄及びその化合物			0									0. 3	0.06	0. 03		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	銅及びその化合物			0									1. 0	0. 20	0. 10		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ナトリウム及びその化合物			0									200	40. 0	20. 0		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法: 1回/3年)
	マンガン及びその化合物			0									0. 05	0.010	0.005		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
38	塩化物イオン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	200	-	-	14. 8	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)			0									300	60	30		水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
40	蒸発残留物			0									500	100	50	193	水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
41	陰イオン界面活性剤			0									0. 2	0.04	0. 02		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ジェオスミン			0								1	0. 00001	0. 000002	0. 000001		検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
	2-メチルイソボルネオール			ō		1							0. 00001	0. 000002	0.000001		検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
	非イオン界面活性剤			0					f			1	0. 02	0.004	0. 002		水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
	フェノール類			0								1	0.005	0.0010	0.0005		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0 0	0	3. 300	0. 0010	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
47	pH値	0	0	0	0	0	0				0		5.8 ~ 8.6		-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
48	味	0	0	0	0	0	0						3.0 ~ 0.0 異常でないこと	-			検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	-		0											-	-		
	臭気	0		0	0	0	0	0			0		異常でないこと	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
50	色度	0 0	0	0	0	0	0				0		5	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
51	濁度	0	0	0	0	0	0				0		2	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
		9	9	51	9	9	22	9	9	22	9	22	項目数		注)各検3	査項目の単位は、	「No.1 [/mL]」,「No.3~No.46 [mg/L]」,「No.50~No.51 [度]」,「No.2及びNo.47~No.49 [単位なし]」

水道施設名 : 薩摩川内市 川内地域 (寄田【港】) <探水地点:唐浜みなと公園>

	水道施設名 :	薩摩	川内	帀	川内	地域		多田【:								<採水地点:/	唐浜みなと公園>
No	項目							検査頻					基準値	頻度源		2022/01/01~	理由
110					7月						月 2月			① 1/5	2 1/10	3年間の最大値	·
1	一般細菌	0	0	0	0	0	0	0	0		0		100	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
2	大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	検出されないこと	-	-	検出されない	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
3	カドミウム及びその化合物			0									0.003	0.0006	0.0003	0.0003未満	過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
4	水銀及びその化合物			0									0.0005	0.00010	0.00005	0.00005未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
5	セレン及びその化合物			0									0. 01	0. 002	0. 001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
6	鉛及びその化合物			0									0. 01	0.002	0.001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
7	ヒ素及びその化合物			0									0. 01	0.002	0. 001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
8	六価クロム化合物			0									0. 02	0.004	0. 002	0.002未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	亜硝酸態窒素			0									0. 04	0.008	0. 004		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	シアン化物イオン及び塩化シアン			0			0			2		0	0. 01	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素			0			0			5		0	10	2. 0	1. 0		検査回数を減らすことのできる項目ですが地域性を考慮し安全確認のため1年に4回の検査
	フッ素及びその化合物			0						_		Ť	0.8	0, 16	0.08		過去の最大値が頻度減の①以下のため1年に1回の検査(水道法:1回/1年)
	ホウ素及びその化合物			0							-		1.0	0. 2	0.1		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	四塩化炭素			0									0. 002	0. 0004	0. 0002		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	1, 4-ジオキサン			0				-	-		-		0.002	0.0004	0.0002		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
10				0									0.03	0.010	0.003		
17	シスー1, 2ージクロロエチレン及びトランスー1, 2ージクロロエチレン ジクロロメタン	-		00	-				+	-	-	-	0. 04	0.008	0.004		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年) 過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
										_		1					
	テトラクロロエチレン			0						_			0. 01	0.002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
19	トリクロロエチレン			0						_		-	0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ベンゼン			0									0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	塩素酸			0			0			O		0	0. 6	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	クロロ酢酸			0			0			O		0	0. 02	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	クロロホルム			0			0			O		0	0. 06	-	-	2 12 2	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ジクロロ酢酸			0			0			2		0	0. 03	-	-	0.003未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
25	ジブロモクロロメタン			0			0			C		0	0. 1	-	-	0. 001	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
26	臭素酸			0			0			C		0	0. 01	-	-	0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
27	総トリハロメタン			0			0			C		0	0. 1	-	-	0. 002	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
28	トリクロロ酢酸			0			0			O		0	0. 03	-	-	0.003未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
29	ブロモジクロロメタン			0			0			2		0	0. 03	-	-	0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
30	ブロモホルム			0			0			o		0	0.09	-	-	0. 001	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
31	ホルムアルデヒド			0			0			5		0	0. 08	-	-	0.008未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
32	亜鉛及びその化合物			0									1. 0	0, 20	0. 10		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	アルミニウム及びその化合物			0									0. 2	0. 04	0. 02		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	鉄及びその化合物			0									0. 3	0.06	0. 03		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	銅及びその化合物			0									1. 0	0. 20	0. 10		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ナトリウム及びその化合物			0					-				200	40. 0	20. 0		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	マンガン及びその化合物			0									0. 05	0.010	0. 005		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	塩化物イオン	0	0	0	0		0	0	\circ	O	0 0	0	200	0.010	0.000		過去の取入値が現長級の位が「ですが女主でも思じて平に「回び工の快量へ不追び、「回グ 3 平) 検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	U	U	0	U	U	U	U				U	300	- 60	30		検査回数の減不可のにの毎月検査(水道法・毎月) 水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
40		-			-	-				-	_	-	500	100	50		
	蒸発残留物	-		0	-			-		-		1					水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
	陰イオン界面活性剤			0								1	0. 2	0.04	0.02		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ジェオスミン			0					_	_	_	1	0. 00001	0.000002	0.000001		検査回数の滅不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
	2-メチルイソボルネオール	<u> </u>		0	<u> </u>						_	1	0. 00001	0.000002	0. 000001		検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
	非イオン界面活性剤			0					_				0. 02	0. 004	0. 002		水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
	フェノール類			0									0. 005	0.0010	0. 0005		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0	0	0	0	0	0				0	0	3	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
47	pH値	0	0	0	0	0	0				0			-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
48	味	0	0	0	0	0	0				0		異常でないこと	-	-	異常なし	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
49	臭気	0	0	0	0	0	0	0	0	O	0	0	異常でないこと	-	-	異常なし	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
50	色度	0	0	0	0	0	0	0		0	0		5	-	-	0.5未満	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
51	濁度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	-	-	0.2未満	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
		9	9	51	9	9	22	9	9	22 9	9	22	項目数		注)各検3	査項目の単位は、	「No.1 [/mL]」, 「No.3~No.46 [mg/L]」, 「No.50~No.51 [度]」, 「No.2及びNo.47~No.49 [単位なし]」

水道施設名 : 薩摩川内市 川内地域 (寄田【上野】)

<採水地点:上野地区集会所>

	水道施設名 :	隆厚	מות	Ф	מות			を田 【		<u>, </u>							上野地区集会所>
No	項目	7-						検査頻					基準値			2022/01/01~	理由
⊢						8月	9月	10月1			月 2月			① 1/5	(2) 1/10	3年間の最大値	·
1	一般細菌	0	0	0		0		0			0 0		100	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
2	大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	0 () (0 0	O	検出されないこと	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
3	カドミウム及びその化合物			0									0. 003	0. 0006	0.0003		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
4	水銀及びその化合物			0									0. 0005	0.00010	0.00005		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
5	セレン及びその化合物			0									0. 01	0.002	0.001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
6	鉛及びその化合物			0									0. 01	0.002	0. 001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
7	ヒ素及びその化合物			0									0. 01	0.002	0.001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
8	六価クロム化合物			0									0. 02	0.004	0.002	0.002未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
9	亜硝酸態窒素			0									0.04	0.008	0.004	0.004未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
10	シアン化物イオン及び塩化シアン			0			0		(O		0	0. 01	-	-	0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素			0			0		(5		0	10	2. 0	1.0	0.1	検査回数を減らすことのできる項目ですが地域性を考慮し安全確認のため1年に4回の検査
	フッ素及びその化合物			0									0.8	0. 16	0. 08		過去の最大値が頻度減の①以下のため1年に1回の検査(水道法:1回/1年)
	ホウ素及びその化合物			Ō						\dashv			1.0	0. 2	0. 1		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
_	四塩化炭素			0						- h			0. 002	0.0004	0. 0002		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	1, 4-ジオキサン			0	1					-		1	0.05	0.010	0. 005		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
16	1, 4-ンオ ギッン シス-1, 2-ジクロロエチレン及びトランス-1, 2-ジクロロエチレン			0						-		1	0.03	0.008	0.003		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ジクロロメタン			0	1					+		1	0.04	0.008	0.004		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
				0						-			0. 02	0.004	0. 002		
19	テトラクロロエチレン											-		0.002			過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	トリクロロエチレン			0	<u> </u>					_		-	0. 01		0. 001		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ベンゼン			0									0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	塩素酸			0			0			O		0	0. 6	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	クロロ酢酸			0			0			2		0	0. 02	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査 (水道法: 4回/1年)
	クロロホルム			0			0			O		0	0.06	-	-	2 12 2	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ジクロロ酢酸			0			0			2		0	0.03	-	-	0.003未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
25	ジブロモクロロメタン			0			0		(O		0	0. 1	-	-	0. 001	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
26	臭素酸			0			0		,	O		0	0. 01	-		0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
27	総トリハロメタン			0			0		(2		0	0. 1	-	-	0.004	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
28	トリクロロ酢酸			0			0		(5		0	0. 03	-	-	0.003未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
29	ブロモジクロロメタン			0			0			5		0	0. 03	-	_		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ブロモホルム			0			0			5		Ō	0.09	-	_		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ホルムアルデヒド			0			0			5		Ō	0. 08	_			検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	亜鉛及びその化合物			0									1.0	0, 20	0. 10		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	アルミニウム及びその化合物			0						+	-	1	0. 2	0. 04	0. 02		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
_	鉄及びその化合物			0						-			0. 2	0.04	0. 03		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	銅及びその化合物			0	-							-	1.0	0. 00	0. 03		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
36				0							-	-	200	40. 0	20. 0		
	ナトリウム及びその化合物																過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	マンガン及びその化合物		_	0			_		_	_			0. 05	0. 010	0. 005		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	塩化物イオン	0	0	0	0	0	0	0	0 () (0 0	0	200	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)			0	<u> </u>								300	60	30		水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
40	蒸発残留物			0	ļ							1	500	100	50		水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
	陰イオン界面活性剤			0									0. 2	0.04	0. 02		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
42	ジェオスミン			0									0. 00001	0.000002	0.000001	0.000001未満	検査回数の滅不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
43	2-メチルイソボルネオール	L		0					[L	0. 00001	0.000002	0.000001	0.000001未満	検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
44	非イオン界面活性剤			0						Т			0. 02	0.004	0. 002	0.005未満	水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
45	フェノール類			0									0. 005	0.0010	0. 0005		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0	0	0	0	0	0	0	0 () (0 0	0	3	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
47	pH値	0	0	0	0	0				_	0 0		5.8 ~ 8.6	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
48	味	0	0	0	0	0					0 0		異常でないこと	_	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	臭気	0	0	0	0	0	0				5 0		異常でないこと	_	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
50	色度	0	0	0	0	0	0				0 0		52111 0 30 0 0 0	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	<u> </u>	0	0	0	0	0	0				5 0	0	0	-			検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月) 検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
01	/判汉	9	9	51	_	9	22			_	9 9	22	項目数	-	÷\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		快登回数の減不可のため毎月快登(水道法・毎月) 「No.1 [/mL] 」, 「No.3~No.46 [mg/L] 」, 「No.50~No.51 [度] 」, 「No.2及びNo.47~No.49 [単位なし] 」
		У	y	IJΙ	9	9	LL	y	9 1	۷.	9 9	22	垻日剱	I	ユ /合快1	直項目の単位は、	・мо. т [/ וווב] 」, ・мо. 3~мо. 40 [lilg/L]] , ・мо. 50~мо. 51 [及]] , ・мо. 2Д О-мо. 47~мо. 49 [単位なし]]

水道施設名 : 薩摩川内市 川内地域 (寄田【池之段】) <探水地点:瀬戸野中継槽>

	水道施設名 :	薩摩	川内	市	川内:	地域		野田 【		役】)						<探水地点:	瀬戸野中継槽>
No	項目							[検査場					基準値			2022/01/01~	理由
NO											月 2月			① 1/5	2 1/10	3年間の最大値	·
1	一般細菌	0	0	0	0	0	0	0	0		0		100	-	-	0	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
2	大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0 0	0	検出されないこと	-	-	検出されない	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
3	カドミウム及びその化合物			0									0.003	0.0006	0.0003	0.0003未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
4	水銀及びその化合物			0									0.0005	0.00010	0.00005	0.00005未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
5	セレン及びその化合物			0									0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
6	鉛及びその化合物			0									0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
7	ヒ素及びその化合物			0									0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
8	六価クロム化合物			0									0. 02	0.004	0. 002		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	亜硝酸態窒素			ō									0. 04	0.008	0. 004		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	シアン化物イオン及び塩化シアン			0			0			0		0	0. 01	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素			0			0			0		0	10	2. 0	1. 0		検査回数を減らすことのできる項目ですが地域性を考慮し安全確認のため1年に4回の検査
_	フッ素及びその化合物			0						_	-	-	0.8	0. 16	0. 08		過去の最大値が頻度減の①以下のため1年に1回の検査(水道法:1回/1年)
	ホウ素及びその化合物			0						-	-	-	1.0	0.10	0.08		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
				0							-		0. 002	0. 0004	0. 0002		
	四塩化炭素	-			-					-	_	-		0.0004			過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
15	1, 4-ジオキサン			0		-							0. 05		0.005		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
16	シスー1, 2ージ クロロエチレン及びトランスー1, 2ージ クロロエチレン			0						_	_	-	0.04	0.008	0.004		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ジクロロメタン			0									0. 02	0. 004	0. 002		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	テトラクロロエチレン			0									0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
19	トリクロロエチレン			0									0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
20	ベンゼン			0									0. 01	0.002	0.001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
21	塩素酸			0			0			0		0	0. 6	-	-	0.06未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
22	クロロ酢酸			0			0			0		0	0. 02	-		0.002未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
23	クロロホルム			0			0			0		0	0.06	-	-	0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
24	ジクロロ酢酸			0			0			0		0	0. 03	-	-	0.003未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
25	ジブロモクロロメタン			0			0			0		0	0. 1	_	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	臭素酸			0			0			ō		0	0. 01	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	総トリハロメタン			0			0			Ō		Ō	0. 1	_	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
28				0			0			0		0	0. 03	_			検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ブロモジクロロメタン			0			0			0		0	0.03	_	-	2 12 2	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ブロモホルム			0			0			0		0	0.00	_	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ホルムアルデヒド			0			0			0		0	0.03	_	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
				0			O			0		U		0. 20	0. 10		
_	亜鉛及びその化合物						-			_		-	1.0				過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	アルミニウム及びその化合物			0						_	_		0. 2	0.04	0. 02		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	鉄及びその化合物			0									0. 3	0.06	0. 03		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	銅及びその化合物			0							_		1. 0	0. 20	0. 10		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ナトリウム及びその化合物			0									200	40. 0	20. 0		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	マンガン及びその化合物			0									0. 05	0.010	0.005		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
38	塩化物イオン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	200	-	-	14. 5	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)			0									300	60	30		水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
40	蒸発残留物			0									500	100	50	191	水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
41	陰イオン界面活性剤			0									0. 2	0.04	0. 02		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ジェオスミン			0								1	0. 00001	0. 000002	0. 000001		検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
	2-メチルイソボルネオール			ō		1					1		0. 00001	0. 000002	0.000001		検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
	非イオン界面活性剤			0					-t		1	1	0. 02	0.004	0. 002		水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
	フェノール類			0								1	0.005	0.0010	0.0005		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0 0	0	3. 300	0.0010	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
47	pH値	0	0	0	0	0	0				0 0		5.8 ~ 8.6		-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
48	味	0	0	0	0	0	0						3.0 ~ 0.0 異常でないこと	-			検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	-		0											-	-		
	臭気	0		0	0	0	0	0 0			0 0		異常でないこと	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
50	色度	0 0	0	0	0	0	0				0		5	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
51	濁度	0	0	0	0	0	0				0 0		2	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
		9	9	51	9	9	22	9	9	22	9	22	項目数		注)各検到	査項目の単位は、	「No.1 [/mL]」, 「No.3~No.46 [mg/L]」, 「No.50~No.51 [度]」, 「No.2及びNo.47~No.49 [単位なし]」

水道施設名 : 薩摩川内市 川内地域 (西方)

<採水地点:西方地区コミュニティセンター>

水道施設名 :	隆厚	MIN	T)	ΜМ	地域		5万)								<採水地点:西方地区コミュニティセンター>
No 項目	45						検査頻			100	100	基準値		基準	2022/01/01~ 理由
1 一般細菌		О	0月 O	O					2月 1月 O O			100	① 1/5	(2) 1/10	3年間の最大値 4円 4円 4円 4円 4円 4円 4円 4
2 大腸菌		0	0	0	0				5 0				-		
	O	O	0	O	U	O	0	0		U	U		0. 0006	0. 0003	検出されない 検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
0 33 1 4 7 1 2 0 0 0 10 11 13			0					_	-	-	1	0. 003 0. 0005	0.00010	0.0005	0.0003未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
·										-	-				0.00005未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
5 セレン及びその化合物			0						-	-		0.01	0. 002	0.001	0.001未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
6 鉛及びその化合物			0		-			_	-	-	-	0.01	0. 002	0.001	0.001未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
7 ヒ素及びその化合物			0									0.01	0. 002	0.001	0.001未満 過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
8 六価クロム化合物			0									0. 02	0.004	0. 002	0.002未満 過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
9 亜硝酸態窒素			0									0. 04	0. 008	0. 004	0.004未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
10 シアン化物イオン及び塩化シアン			0			0			O		0	0. 01	-	-	0.001未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素			0			0			2		0	10	2. 0	1.0	0.1未満 検査回数を減らすことのできる項目ですが地域性を考慮し安全確認のため1年に4回の検査
12 フッ素及びその化合物			0			0		(2		0	0.8	0. 16	0. 08	0.27 過去の最大値が頻度滅の①より大きいため1年に4回の検査(水道法:4回/1年)
13 ホウ素及びその化合物			0									1.0	0. 2	0. 1	0.1未満 過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
14 四塩化炭素			0									0. 002	0.0004	0.0002	0.0002未満 過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
15 1, 4-ジオキサン			0									0. 05	0. 010	0. 005	0.005未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
16 シスー1, 2ージ クロロエチレン及びトランスー1, 2ージクロロエチレン	,		0									0.04	0.008	0.004	0.004未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
17 ジクロロメタン			0									0. 02	0. 004	0. 002	0.002未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
18 テトラクロロエチレン			0									0. 01	0.002	0. 001	0.001未満 過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
19 トリクロロエチレン			0									0. 01	0.002	0. 001	0.001未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
20 ベンゼン			0									0. 01	0. 002	0. 001	0.001未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
21 塩素酸			0			0			O		0	0. 6	-	_	0.44 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
22 クロロ酢酸			Ō			0			5		0	0. 02	-	-	0.002未満 検査回数を減らすことができない項目のため 1 年に 4 回以上の検査 (水道法: 4 回/ 1 年)
23 クロロホルム			ō			0			5		0	0.06	-	-	0.001未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
24 ジクロロ酢酸			ō			0			5		0	0. 03	_		0.003未満 検査回数を減らすことができない項目のため 1 年に 4 回以上の検査 (水道法: 4 回/ 1 年)
25 ジブロモクロロメタン			ō			0			5		0	0. 1	_		0.002 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
26 臭素酸			0			0			5		0	0. 01	_		0.001 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
27 総トリハロメタン			0			0			5		0	0.01	_		0.005 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
28 トリクロロ酢酸			0			0			5		0	0.03	_	-	0.003未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
29 ブロモジクロロメタン			0			0			5		0	0.03	-		0.000木周 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 0.001 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
30 ブロモルルム			0			0			5	-	0	0.03			
						_					0		-	-	0.002 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
31 ホルムアルデヒド			0			0			0		O	0.08	- 0.00	- 0.10	0.008未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
32 亜鉛及びその化合物			0							-		1.0	0. 20	0. 10	0.01未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
33 アルミニウム及びその化合物			0									0. 2	0. 04	0. 02	0.02未満 過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
34 鉄及びその化合物			0									0.3	0.06	0. 03	0.03未満 過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
35 銅及びその化合物			0									1.0	0. 20	0. 10	0.01未満 過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
36 ナトリウム及びその化合物			0									200	40. 0	20. 0	43.5 水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
37 マンガン及びその化合物			0									0. 05	0. 010	0. 005	0.010 過去の最大値が頻度滅の①以下のため1年に1回の検査(水道法:1回/1年)
38 塩化物イオン	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	200	-	-	16.4 検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
39 カルシウム、マグネシウム等(硬度)			0									300	60	30	62 水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
40 蒸発残留物			0									500	100	50	192 水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
41 陰イオン界面活性剤			0									0. 2	0.04	0. 02	0.02未満 過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
42 ジェオスミン			0									0. 00001	0. 000002	0.000001	0.000001未満 検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
43 2-メチルイソボルネオール	1		0									0. 00001	0.000002	0.000001	0.000001未満 検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
44 非イオン界面活性剤	1		0									0. 02	0.004	0. 002	0.005未満 水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
45 フェノール類	1		ō							1		0. 005	0.0010	0. 0005	0.0005未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
46 有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0	0	0	0	0	0	0	0 (0 0	0	0	3	-	-	0.3未満検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
47 pH値	0	0	0	0	0	0			0 0			5.8 ~ 8.6	_	-	8.3 検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
48 味	0	0	0	0	0	0	0		5 0			異常でないこと		-	異常なし 検査回数の減不可のため毎月検査 (水道法:毎月)
49 臭気	0	0	0	0	0	0			5 0			異常でないこと	-		異常なし 検査回数の減不可のため毎月検査 (水道法:毎月)
50 色度	0	0	0	0	0	0	0		5 0			実施 じないこと	-		実常なし 快貸回数の減不可のため毎月快登(水道法・毎月)
51 濁度	0	0	0	0	0	0			5 0			5	-	-	1.0 快館回致の減不可のため毎月快館(水道法:毎月) 0.2未満 検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
○ /闽及				_	_					_	_	-= D W	-	- AT AT AT A	
	9	9	51	9	9	23	9	9 2	23 9	9	23	項目数		注)合使1	査項目の単位は、「 No.1 [/mL] 」,「 No.3~No.46 [mg/L] 」,「 No.50~No.51 [度] 」,「 No.2及びNo.47~No.49 [単位なし] .

水道施設名 : 薩摩川内市 川内地域 (水引)

<採水地点:水引地区コミュニティセンター>

不追施設名		171173	1112	71173	吧哦								PE	+ TF 200	〈採水地点:水引地区コミュニティセンダー>
No 項目	40	5月		70			検査場		月 1月	100	120	基準値	頻度源		2022/01/01~ 理由
1 一般細菌	4月	- , ,	0月 O	/ <u>F</u>	8月 〇	O	O		(月 1月 (2) (0)			100	U 1/0	∠ I/IU -	13年间の成入他 0 検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
2 大腸菌		0	0	0	0	0	0		0 0			検出されないこと	_		検出されない検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
3 カドミウム及びその化合物			0				O		5 0			0.003	0, 0006	0, 0003	0.0003未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
4 水銀及びその化合物	1		0									0. 0005	0.00010	0. 00005	0.00005未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
5 セレン及びその化合物			0									0.0003	0.00010	0. 00003	0.0003本河 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
6 鉛及びその化合物			0							+		0. 01	0. 002	0. 001	0.001未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
7 ヒ素及びその化合物	1		0							+	-	0. 01	0. 002	0. 001	0.001未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
8 六価クロム化合物			0									0.01	0.002	0. 001	0.001木洞 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
9 亜硝酸態窒素			0									0. 02	0.004	0.002	0.004未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
10 シアン化物イオン及び塩化シアン			0			0			O		0	0. 04	0.000	0.004	0.001未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素			0			0			2		0	10	2. 0	1.0	0.01末満 検査回数を減らすことのできる項目ですが地域性を考慮し安全確認のため1年に4回の検査
12 フッ素及びその化合物	-		0			0			_		10	0.8	0. 16	0. 08	0.12 過去の最大値が頻度減の①以下のため1年に1回の検査(水道法:1回/1年)
13 ホウ素及びその化合物			0									1.0	0. 10	0.08	0.12 國云の最大値が頻度減の①以下のため「年に「回の検査(水道法・「回ノ「年) 0.1未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法・1回/3年)
	1		0							-		0.002	0. 0004	0. 0002	
	1		0						_	+	-		0.0004		0.0002未満過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	-								_			0. 05		0.005	0.005未満過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
16 シスー1, 2ージクロロエチレン及びトランスー1, 2ージクロロエチレン 17 ジクロロメタン	-		0						+		1	0. 04 0. 02	0. 008 0. 004	0. 004	0.004未満過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	_		0				-		-		-				0.002未満過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
18 テトラクロロエチレン			0									0.01	0.002	0.001	0.001未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
19 トリクロロエチレン	-		0									0. 01	0.002	0.001	0.001未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
20 ベンゼン			0									0. 01	0. 002	0. 001	0.001未満 過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
21			0			0			2	4	0	0.6	-	-	0.53 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
22 クロロ酢酸			0			0			O	4	0	0. 02	-	-	0.002未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
23 クロロホルム			0			0			O		0	0.06	-	-	0.001未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
24 ジクロロ酢酸			0			0			O		0	0. 03	-	-	0.003未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
25 ジブロモクロロメタン			0			0			O		0	0. 1	-	-	0.002 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
26 臭素酸			0			0			2		0	0. 01	-	-	0.001 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
27 総トリハロメタン			0			0			O		0	0. 1	-	-	0.005 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
28 トリクロロ酢酸			0			0			O .		0	0. 03	-	-	0.003未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
29 ブロモジクロロメタン			0			0			O .		0	0. 03	-	-	0.001 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
30 ブロモホルム			0			0))		0	0. 09	-	-	0.002 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
31 ホルムアルデヒド			0			0		(O		0	0. 08	-	-	0.008未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
32 亜鉛及びその化合物			0									1.0	0. 20	0. 10	0.01未満 過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
33 アルミニウム及びその化合物			0									0. 2	0.04	0. 02	0.02未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
34 鉄及びその化合物			0			0		(C		0	0. 3	0.06	0. 03	0.15 過去の最大値が頻度減の①より大きいため1年に4回の検査(水道法:4回/1年)
35 銅及びその化合物			0									1.0	0. 20	0. 10	0.02 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
36 ナトリウム及びその化合物			0									200	40.0	20.0	58.0 水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
37 マンガン及びその化合物			0									0. 05	0.010	0. 005	0.016 水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
38 塩化物イオン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	200	-	-	12.8 検査回数の減不可のため毎月検査 (水道法:毎月)
39 カルシウム、マグネシウム等(硬度)			0									300	60	30	96 水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
40 蒸発残留物	Ī		0			0		(5		0	500	100	50	
41 陰イオン界面活性剤	1		0	Ì						t	t	0. 2	0. 04	0. 02	
42 ジェオスミン	ĺ		Ō								1	0.00001	0.000002	0. 000001	0.00001未満 検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
43 2-メチルイソボルネオール	1		0	l					1		1	0. 00001	0. 000002	0. 000001	0.00001未満検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
44 非イオン界面活性剤	1		0							f		0. 02	0.004	0. 002	0.005未満 水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
45 フェノール類	f		0								1	0.005	0.0010	0.0005	0.0005未満過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に10回以上の検査(水道法:1回/3年)
46 有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	3.000	-	-	0.000分末満接査回数の減不可のため毎月検査(外達法:毎月)
47 pH值	0	0	0	0	0	0	0		0 0	_		5.8 ~ 8.6	_		8.3 検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
48 味	0	0	0	0	0	0	0		0 0						異常なし 検査回数の減不可のため毎月検査 (水道法:毎月)
49 臭気	0	0	0	0	0	0	0		5 0			異常でないこと			異常なし 検査回数の減不可のため毎月検査 (水道法:毎月)
50 色度	0	0	0	0	0	0	0		0 0			×m (-40,C2	-		2.4 検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
51 濁度	0	0	0	0	0	0	0		5 0			3	-		0.2未満 検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
□ / / /	9	9	51			24			24 9			項目数	-	;+\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
	У	y	IJΙ	9	y	۷4	y	9 1	4 9	9	24	- 垻日剱	J	土/合恢1	査項目の単位は、「 No.1 [/mL] 」,「 No.3~No.46 [mg/L] 」,「 No.50~No.51 [度] 」,「 No.2及びNo.47~No.49 [単位なし] 」

水道施設名 : 薩摩川内市 川内地域 (網津) <採水地点:網津集会所>

	水道施設名 :	薩摩	川内	市	川内	地域		周津)								<探水地点:	稍津集会所>
No	項目							検査場					基準値			2022/01/01~	理由
110			5月								1月 2月			① 1/5	2 1/10	3年間の最大値	
1	一般細菌	0	0	0	0	0	0		0		0 0		100	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
2	大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	検出されないこと	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
3	カドミウム及びその化合物			0									0. 003	0.0006	0.0003		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
4	水銀及びその化合物			0									0. 0005	0.00010	0.00005		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
5	セレン及びその化合物			0									0. 01	0. 002	0. 001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
6	鉛及びその化合物			0									0. 01	0. 002	0. 001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
7	ヒ素及びその化合物			0									0. 01	0. 002	0.001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
8	六価クロム化合物			0									0. 02	0.004	0.002	0.002未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
9	亜硝酸態窒素			0									0. 04	0.008	0.004	0.004未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
10	シアン化物イオン及び塩化シアン			0			0			0		0	0. 01	-	-	0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素			0			0			0		0	10	2. 0	1.0	0.1未満	検査回数を減らすことのできる項目ですが地域性を考慮し安全確認のため1年に4回の検査
12	フッ素及びその化合物			0									0.8	0.16	0. 08	0.08未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ホウ素及びその化合物			0									1.0	0. 2	0. 1		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	四塩化炭素			0									0. 002	0.0004	0. 0002		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	1, 4-ジオキサン			0					f	T			0.05	0. 010	0, 005		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
16	シスー1, 2ージ クロロエチレン及びトランスー1, 2ージ クロロエチレン			0						-			0.04	0.008	0. 004		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
17	ジクロロメタン			0						-			0.02	0.004	0. 002		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	テトラクロロエチレン	 		0	\vdash			\vdash	-+	\dashv		+	0. 02	0.002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
19	トリクロロエチレン			0									0.01	0.002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ベンゼン			0								+	0.01	0.002	0.001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	塩素酸			0			0			0		0	0.01	- 0.002	-		過去の取入他が頻度級の名が下ですが安全で考慮して中に「回め上の検査(水道法:4回/3年) 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	クロロ酢酸			0			0			0		0	0.02	-			検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	クロロホルム			0			0			0		0	0.02		-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
				00			0			0		0	0.06	-		1 11 1	
	ジクロロ酢酸													-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ジブロモクロロメタン			0			0			0		0	0.1	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	臭素酸			0			0			0		0	0. 01	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	総トリハロメタン			0			0			0		0	0.1	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
28				0			0			0		0	0. 03	-	-	1 11 1	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ブロモジクロロメタン			0			0			0		0	0. 03	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ブロモホルム			0			0			0		0	0. 09	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ホルムアルデヒド			0			0			0		0	0. 08	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	亜鉛及びその化合物			0									1.0	0. 20	0. 10		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
33	アルミニウム及びその化合物			0									0. 2	0.04	0. 02	0.02未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
34	鉄及びその化合物			0									0. 3	0.06	0. 03	0.03未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
35	銅及びその化合物			0									1.0	0. 20	0.10	0.01未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
36	ナトリウム及びその化合物			0									200	40.0	20.0	19. 6	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
37	マンガン及びその化合物			0									0. 05	0.010	0.005	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
38	塩化物イオン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	200	-	-	11. 3	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)			0									300	60	30	58	過去の最大値が頻度減の①以下のため1年に1回の検査(水道法:1回/1年)
40	蒸発残留物			0									500	100	50		水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
	陰イオン界面活性剤			0						T			0. 2	0. 04	0. 02		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ジェオスミン			0								+	0. 00001	0. 000002	0. 000001		検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
	2-メチルイソボルネオール			0					-	-			0. 00001	0. 000002	0. 000001		検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
	非イオン界面活性剤			0		1			+	-+	-		0.00001	0. 004	0. 002		水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
	フェノール類			0									0.005	0.0010	0.0005		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0.003	0.0010	0.0000		過去の取入他が頻度減の心が下ですが安主を考慮して中に「回ぶ工の検査(水道法・1回グ 3 中) 検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
47	pH値	0	0	0	0	0	0				0 0		5.8 ~ 8.6	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月) 検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
47	味	0	0				0						5.8 ~ 8.6 異常でないこと	-			***************************************
	-			0	0	0			0					-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	臭気	0	0	0	0	0	0	0	0		0 0		異常でないこと	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
50	色度	0 0	0	0	0	0	0		0		0 0		5	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
51	濁度	0	0	0	0	0	0				0 0		2	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
		9	9	51	9	9	22	9	9	22	9 9	22	項目数		注)各検3	査項目の単位は、	「No.1 [/mL] 」, 「No.3~No.46 [mg/L] 」, 「No.50~No.51 [度] 」, 「No.2及びNo.47~No.49 [単位なし] 」

水道施設名 : 薩摩川内市 川内地域 (湯之元)

<採水地点:湯の里霊園>

	水道施設名 :	薩摩	MM	ф	MM.	地域		身之元								<採水地点:	
No	項目			^=				検査頻					基準値			2022/01/01~	理由
<u> </u>											月 2月			① 1/5	(2) 1/10	3年間の最大値	
1	一般細菌	0	0	0		0					0 0		100	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
2	大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	O	検出されないこと	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	カドミウム及びその化合物			0						_		_	0. 003	0. 0006	0. 0003		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	水銀及びその化合物			0								1	0.0005	0.00010	0.00005		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
_	セレン及びその化合物			0									0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	鉛及びその化合物			0							_		0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法: 1回/3年)
	ヒ素及びその化合物			0									0. 01	0. 002	0.001		過去の最大値が頻度減の①以下のため1年に1回の検査(水道法:1回/1年)
	六価クロム化合物			0									0. 02	0.004	0. 002		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	亜硝酸態窒素			0									0. 04	0.008	0.004		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
10	シアン化物イオン及び塩化シアン			0			0			0		0	0. 01	-	-	0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素			0			0			0		0	10	2. 0	1.0	0. 3	検査回数を減らすことのできる項目ですが地域性を考慮し安全確認のため1年に4回の検査
12	フッ素及びその化合物			0									0.8	0.16	0.08	0. 11	過去の最大値が頻度減の①以下のため1年に1回の検査(水道法:1回/1年)
13	ホウ素及びその化合物			0									1.0	0. 2	0. 1	0.1未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
14	四塩化炭素			0									0. 002	0.0004	0.0002	0.0002未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
15	1, 4-ジオキサン			0									0. 05	0.010	0. 005	0.005未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
16	シスー1, 2ージクロロエチレン及びトランスー1, 2ージクロロエチレン			0									0.04	0.008	0.004	0.004未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
17	ジクロロメタン			0					İ				0. 02	0.004	0. 002	0.002未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
18	テトラクロロエチレン			0									0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
19	トリクロロエチレン			0									0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
20	ベンゼン			0									0, 01	0. 002	0, 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
21	塩素酸			0			0			0		0	0. 6	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	クロロ酢酸			0			0			Ö		Ō	0. 02	_	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	クロロホルム			0			0			Ö		0	0.06	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ジクロロ酢酸			0			0			0		0	0.03	_		2 12 2	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ジブロモクロロメタン			0			0			0		0	0.1	_	_		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	臭素酸			0			0			0		0	0. 01	_			検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	総トリハロメタン			0			0			0		0	0.01	-			検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	トリクロロ酢酸			0			0			0		0	0. 03	-			検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ブロモジクロロメタン			0			0			0		0	0.03	-			検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ブロモホルム			00			0			0		0	0.03	-			
														-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ホルムアルデヒド			0			0			0		0	0.08	- 0.00	- 0.10		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	亜鉛及びその化合物			0	<u> </u>					_		1	1.0	0. 20	0. 10		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	アルミニウム及びその化合物			0						_			0. 2	0.04	0. 02		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	鉄及びその化合物			0	ļ								0.3	0.06	0. 03		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	銅及びその化合物			0						_		_	1.0	0. 20	0. 10		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ナトリウム及びその化合物			0								1	200	40. 0	20.0		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	マンガン及びその化合物			0									0. 05	0. 010	0. 005		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法: 1回/3年)
	塩化物イオン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	200	-	-		検査回数の滅不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	カルシウム、マグネシウム等(硬度)			0									300	60	30		A THE STATE OF THE
	蒸発残留物			0								1	500	100	50		水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
	陰イオン界面活性剤			0									0. 2	0.04	0. 02		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法: 1回/3年)
42	ジェオスミン			0									0. 00001	0.000002	0.000001	0.000001未満	検査回数の滅不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
43	2-メチルイソボルネオール			0									0. 00001	0.000002	0.000001	0.000001未満	検査回数の滅不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
44	非イオン界面活性剤			0									0. 02	0.004	0. 002	0.005未満	水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
45	フェノール類			0									0. 005	0.0010	0. 0005	0.0005未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	3	-	-	0.3未満	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
47	pH値	0	0	0	0	0					0 0		5.8 ~ 8.6	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	0	0	0	0	0					0 0		異常でないこと	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	臭気	0	0	0	0	0	0				0 0		異常でないこと	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	色度	0	0	0	0	0	0				0 0		5	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	濁度	0	0	0	0	0	0				0 0		2	_	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
		9	9	51	_	9	22			_	9 9	22	項目数		注) 各給		「No.1 [/mL] 」, 「No.3~No.46 [mg/L] 」, 「No.50~No.51 [度] 」, 「No.2及びNo.47~No.49 [単位なし] 」
		<u> </u>		٠.				•	- 1		- , "		-712		, _ 10.1	- XI -> - LIG(

水道施設名 : 薩摩川内市 川内地域 (木場谷上)

<探水地点:青山町5017番地1地先>

	水道施設名:	薩摩	川内	市	川内			木場谷								<探水地点:青山町5017番地1地先>
No	項目	Ĺ.,						E検査 数		1			基準値		基準	2022/01/01~
	****									2月 1月				① 1/5	2) 1/10	3年間の最大個
	一般細菌	0		0		0		0		0 0			100	-	-	6 検査回数の滅不可のため毎月検査(水道法:毎月)
2	大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0		-	-	検出されない 検査回数の減不可のため毎月検査 (水道法:毎月)
3	カドミウム及びその化合物			0								_	0.003	0. 0006	0. 0003	0.0003未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
4	水銀及びその化合物			0							_	1	0. 0005	0.00010	0. 00005	0.00005未満 過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
5	セレン及びその化合物			0									0. 01	0. 002	0. 001	0.001未満 過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
_	鉛及びその化合物			0									0. 01	0. 002	0. 001	0.001未満 過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
7	ヒ素及びその化合物			0									0. 01	0. 002	0.001	0.001 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
8	六価クロム化合物			0									0. 02	0.004	0. 002	0.002未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
9	亜硝酸態窒素			0									0. 04	0. 008	0.004	0.004未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
10	シアン化物イオン及び塩化シアン			0			0			0		0	0. 01	-	-	0.001未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素			0			0			0		0	10	2. 0	1.0	0.2 検査回数を減らすことのできる項目ですが地域性を考慮し安全確認のため1年に4回の検査
12	フッ素及びその化合物			0									0.8	0.16	0. 08	0.08未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
13	ホウ素及びその化合物			0									1.0	0. 2	0. 1	0.1未満 過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
14	四塩化炭素			0									0. 002	0.0004	0.0002	0.0002未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
15	1, 4-ジオキサン			0									0.05	0. 010	0. 005	0.005未満 過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
16	シスー1, 2ージ クロロエチレン及びトランスー1, 2ージ クロロエチレン			0									0.04	0. 008	0. 004	0.004未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
17				Ō								1	0. 02	0.004	0. 002	0.002未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
18				Ō									0. 01	0. 002	0. 001	0.001未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
19	トリクロロエチレン			Ō									0. 01	0.002	0. 001	0.001未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
20				ō									0. 01	0.002	0. 001	0.001未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	塩素酸			0			0			0		0	0. 6	-	-	0.00 (1) 検査の数を減らすとができない項目のため1年(24回以上の検査(水道法・4回/1年)
	クロロ酢酸			0			0			0		0	0. 02	_		0.002未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
23	11111111			0			0			0		0	0.02	_	-	0.001未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ジクロロ酢酸			0			0			0		0	0.00	-		0.003未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
25				0			0			0		0	0.03	-		0.001未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
26				0			0			0		0	0. 1	-		0.001未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 0.001未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	総トリハロメタン			0			0			0		0	0.01	-	-	
							0					0		-	-	0.001未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	トリクロロ酢酸			0						0	-		0. 03	-	-	0.003未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ブロモジクロロメタン			0			0			0		0	0. 03	-	-	0.001未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
30				0			0			0	_	0	0.09	-	-	0.001未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
31	ホルムアルデヒド			0			0			0		0	0. 08	-	-	0.008未満 検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
_	亜鉛及びその化合物			0									1.0	0. 20	0. 10	0.01未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
33				0									0. 2	0. 04	0. 02	0.02未満 過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
34	201210 (11 12 12 12			0									0. 3	0.06	0. 03	0.03未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
35	銅及びその化合物			0									1.0	0. 20	0. 10	0.01未満 過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
36				0									200	40. 0	20. 0	12.4 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
37	マンガン及びその化合物			0									0. 05	0. 010	0. 005	0.001未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
38	塩化物イオン	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	200	-	-	8.5 検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)			0									300	60	30	33 過去の最大値が頻度減の①以下のため1年に1回の検査(水道法:1回/1年)
40	蒸発残留物			0									500	100	50	142 水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
41	陰イオン界面活性剤			0									0. 2	0.04	0. 02	0.02未満 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
42	ジェオスミン			Ō								1	0. 00001	0. 000002	0.000001	0.000001未満 検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
43				Ō							1	1	0. 00001	0. 000002	0. 000001	0.000001未満 検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
44		1		ō	1				<u> </u>	1	1	1	0. 02	0.004	0. 002	0.005未満 水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
45	フェノール類	1		0		t	1		-	_	+	1	0.005	0.0010	0.0005	0.0005未満適去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水池法:1回/3年)3年
46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	0	3	-	-	0.3未満検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	pH値	0	0	0	0	0	0	0		0 0			5.8 ~ 8.6			8.0 検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
48		0	0	0	0	0	0	0		0 0			異常でないこと	-		異常なし検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
49	1 -	0	0	0	0	0	0	0		0 0			異常でないこと			異常なし検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	色度	0	0	0	0	0	0	0		0 0			Zm C-80.C2	-		# 3 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本
	濁度	0	0	0	0	0	0	0		0 0			0			0.3木綱 検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
91	/到汉	9	9			9	_				_		75 D **	-	;+\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
		9	У	51	9	9	22	У	У	22 9	9	22	項目数	ı	注》 合模1	査項目の単位は、「 No.1 [/mL] 」,「 No.3~No.46 [mg/L] 」,「 No.50~No.51 [度] 」,「 No.2及びNo.47~No.49 [単位なし] 」

水道施設名 : 薩摩川内市 川内地域 (堀之内)

<採水地点:堀之内前公民館>

### 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		水道施設名	程序	MIN	TD)	מות	地域		掘之り									· NA CANTO CREATE CONTRACTOR OF THE CONTRACTOR
Marie O O O O O O O O O O O O O O O O O O	No										0.01			基準値			2022/01/01~	理由
2 英語														3	① 1/5	(2) 1/10		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
3 かとしているからできた。		100 100 100 100 100 100 100 100 100 100													-	-		
4 からないできらいた。		1 11 12 12 12	O	O		O	O	O	0	O	0	0	0 (- 0.000			
8 で												_	_					
日 数数目の音楽器						ļ						_	_					
日本記すらの合物																		
大型の人に合物	6																	
野熱歌楽者	7																	
19																		
日本の報告書類の報告を表示という。															0. 008	0. 004		
2															-	-		
3	11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素						0			0		(検査回数を減らすことのできる項目ですが地域性を考慮し安全確認のため1年に4回の検査
14																		
15 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	13	ホウ素及びその化合物												1.0				過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法: 1回/3年)
10	14	四塩化炭素			0									0. 002	0.0004	0.0002	0.0002未満 i	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法: 1回/3年)
17	15	1, 4-ジオキサン												0. 05				過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
18	16	シスー1, 2ージ クロロエチレン及びトランスー1, 2ージクロロエチレン										I		0. 04	0.008	0. 004	0.004未満 i	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法: 1回/3年)
9 トリフロコエチレン	17	ジクロロメタン												0. 02	0.004	0. 002	0.002未満 i	過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
9 トリフロコエチレン	18	テトラクロロエチレン			0									0. 01	0.002	0. 001	0.001未満 i	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
2	19	トリクロロエチレン			0									0. 01	0.002	0.001	0.001未満 i	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
22 クロの計画	20	ベンゼン			0									0. 01	0.002	0. 001	0.001未満 i	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
22	21	塩素酸			0			0			0		(0.6	-	-	0.08 柱	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
22 日の日本ルム															-	-		
24					C			C					(0.06	_	_		
25															_	_		
28															1	_		
Properties																_		
2 トリクロの新酸																		
29 プロモシクロロメタン															+			
30 月 1 年 末 ル ム																		
31 末かムアルデヒド																		
型数次びその化合物															_			
33 アルミーウム及びその化合物															0.20	0.10		
34 飲及びその化合物																		
銀数であるいけい																		
36												-						
37 マンガン及びその化合物							+											
38 塩化物イオン O																		
39 カルシウム、マグネシウム等(硬度)			_	_		_	^	_		_	\sim	\sim	_		0.010	0.005		
40 蒸発残留物 0<			O	O		0	0	O	0	O	0	0	0 (-	-		
41 陰イオン界面活性剤 O D D D D D D D D D D D D D D D D D D D																		
42 ジェオスミン O N D D D D D D D D D D D D D D D D D D			-	<u> </u>		 	1				_	_						
43 2-メチルイソボルネオール □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □				ļ		<u> </u>	1			\sqcup		_	_					
44 非イオン界面活性剤 O		-				1	1					_	_					
45 フェノール類 O			<u> </u>			1	1							_				
46 有機物(全有機炭素(TOC)の量) O O O O O O O O O O O O O O O O O O O																		
47 DH値 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O															0.0010			
48 味 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O															-	-		
49 臭気 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O			0													-		
50 色度 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O			0												-	-		
51 濁度 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O			0											異常でないこと	-	-	異常なし	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
					0									5	-	-	0.5未満 村	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
9 9 51 9 9 22 9 9 9 22 項目数 注)各検査項目の単位は、「No.1 [/mL]」,「No.3~No.46 [mg/L]」,「No.50~No.51 [度]」,「No.2及びNo.47~No.49 [単位なし]」	51	濁度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (2	-	-	0.2未満 村	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
			9	9	51	9	9	22	9	9	22	9	9 2	2 項目数		注)各検	査項目の単位は、	「No.1 [/mL]」, 「No.3~No.46 [mg/L]」, 「No.50~No.51 [度]」, 「No.2及びNo.47~No.49 [単位なし]」

水道施設名 : 薩摩川内市 川内地域 (高貫)

<採水地点:高貫中継ポンプ場>

	1	_		-					7 DE				_	原本企	# TF 325		同員中部小フノ樹ノ
No	項目	48	5月	6 🖪	7.8			度検査		12 FI	1月 2	1 1 2 E	基準値	頻度源		2022/01/01~ 3年間の最大値	理由
1	一般細菌	4 <i>H</i>	O	O		O		O	О	O	0 0			① 1/3	(<u>Z</u>) 1/10	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
2	大腸菌	0	0	0				0	0	0	0 0			-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	カドミウム及びその化合物	U	0	0	U	U	U	U	0	U	0 0) 0	0.003	0. 0006	0. 0003		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
4	水銀及びその化合物			0	1	1	1						0.003	0.00010	0.0005		週去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
				0		1	1						0.0003	0.00010	0.00003		
	セレン及びその化合物				-	1	1							0.002	0.001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法: 1回/3年)
	鉛及びその化合物			0	-	1	-	-				_	0. 01				過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ヒ素及びその化合物			0			1						0. 01	0.002	0.001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	六価クロム化合物			0		1	1						0. 02	0.004	0. 002		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	亜硝酸態窒素			0									0. 04	0. 008	0. 004		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
				0			0			0		0		-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素			0			0			0		0		.	1.0		検査回数を減らすことのできる項目ですが地域性を考慮し安全確認のため1年に4回の検査
				0									0.8	0. 16	0.08		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ホウ素及びその化合物			0									1.0	0. 2	0. 1		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	四塩化炭素			0									0. 002	0.0004	0.0002		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
15	1, 4-ジオキサン			0									0. 05	0.010	0. 005	0.005未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
16	シスー1, 2ージ クロロエチレン及びトランスー1, 2ージ クロロエチレン			0									0. 04	0.008	0.004	0.004未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
17	ジクロロメタン			0									0. 02	0.004	0. 002	0.002未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
18	テトラクロロエチレン			0									0. 01	0.002	0.001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
19	トリクロロエチレン			0									0. 01	0.002	0.001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
20	ベンゼン			0									0. 01	0.002	0. 001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
21	塩素酸			0			0			0		0	0. 6	-	-	0.06未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	クロロ酢酸			0			0			0		0		-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	クロロホルム			0			0			0		0		-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ジクロロ酢酸			0			Ō			0		ō		_	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ジブロモクロロメタン			0			0			0		ō		_	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	臭素酸			0			0			0		0		_	_		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	総トリハロメタン			0			0			0		0		_	_		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
28	トリクロロ酢酸			0			0			0		0		_	_		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ブロモジクロロメタン			0		1	0			0		0		-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ブロモホルム			0			0			0		0		-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
				0			0			0		0					
	ホルムアルデヒド 亜鉛及びその化合物			0			U			U		U	1.0	- 0, 20	0, 10		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年) 過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
				00			1							0. 20			
	アルミニウム及びその化合物					1	-						0. 2		0. 02		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	鉄及びその化合物			0			1						0.3	0.06	0. 03		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	銅及びその化合物			0	-	-	-						1.0	0. 20	0. 10		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ナトリウム及びその化合物			0									200	40. 0	20. 0		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	マンガン及びその化合物			0									0. 05	0. 010	0. 005		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	塩化物イオン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0		-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)			0									300	60	30	32	過去の最大値が頻度減の①以下のため1年に1回の検査(水道法: 1回/1年)
	蒸発残留物			0									500	100	50		水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
41	陰イオン界面活性剤			0									0. 2	0. 04	0. 02	0.02未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
42	ジェオスミン			0									0. 00001	0.000002	0.000001	0.000001未満	検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
43	2-メチルイソボルネオール			0									0. 00001	0.000002	0.000001	0.000001未満	検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
44	非イオン界面活性剤			0									0. 02	0.004	0. 002	0.005未満	水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
45	フェノール類			0							l		0. 005	0.0010	0. 0005	0.0005未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	0	3	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
47	pH値	0	0	0	0	0		0	0	0	0 0	_		-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
48		Ō	0	0	Ō	Ō		0	0	0	0 0		異常でないこと	-	-		検査回数の滅不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	臭気	0	0	0	0	0		0	0	0	0 0	_		_	_		
	色度	0	0	0	0			0	0	0	0 0			_	_		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	濁度	0	0	0	0			0	0	0	0 0						検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
01	1-1/4	9	9	51	_				9	22	9 9	_			注) 久拴2		「No.1 [/mL] 」, 「No.3~No.46 [mg/L] 」, 「No.50~No.51 [度] 」, 「No.2及びNo.47~No.49 [単位なし] 」
		J	J	υı	J	Ü	~~	J	J	~~	9 8	- 44	织口奴	l	工/ 古快1	且なロの干止は、	・ no. i [/iiii]] , ・ no. 5'-no. 40 [iiig/L]] , ・ no. 50'-no. 51 [及]] , ・ no. 2次のno. 47'-no. 43 [単型なし]]

水道施設名 : 薩摩川内市 川内地域 (乗越) <探水地点:乗越自治会館>

	水道施設名	薩摩	III M	Π .	川内	地域		(超)									乗越目治会館>
No 項目				^=		令和7年度検査頻度 3 8月 9月 10月 11月 12月 3月							基準値 頻度減基準			2022/01/01~	理由
														(1) 1/5	(2) 1/10	3年間の最大値	· ·
1	一般細菌	0	0	0		0		0			0 0		100	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	0 () (0 0	0	検出されないこと	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	カドミウム及びその化合物			0						_			0. 003	0. 0006	0.0003		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	水銀及びその化合物			0									0.0005	0.00010	0.00005		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
_	セレン及びその化合物			0									0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	鉛及びその化合物			0						_			0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ヒ素及びその化合物			0									0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	六価クロム化合物			0									0. 02	0.004	0. 002		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	亜硝酸態窒素			0									0. 04	0.008	0.004		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
10	シアン化物イオン及び塩化シアン			0			0			2		0	0. 01	-	-	0.001未満	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
-11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素			0			0		(2		0	10	2. 0	1.0	0.1未満	検査回数を減らすことのできる項目ですが地域性を考慮し安全確認のため1年に4回の検査
12	フッ素及びその化合物			0									0.8	0.16	0.08	0.08未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
13	ホウ素及びその化合物			0									1.0	0. 2	0.1	0.1未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
14	四塩化炭素			0									0. 002	0.0004	0.0002	0.0002未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
15	1, 4-ジオキサン			0									0.05	0.010	0.005	0.005未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
16	シスー1, 2ージクロロエチレン及びトランスー1, 2ージクロロエチレン			0									0.04	0.008	0.004	0.004未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
17	ジクロロメタン			0						1			0. 02	0.004	0. 002	0.002未満	過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
18	テトラクロロエチレン			0									0. 01	0. 002	0. 001	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
19	トリクロロエチレン			0						T			0. 01	0. 002	0. 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
20	ベンゼン			0						1			0, 01	0.002	0, 001		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	塩素酸			0			0			0		0	0. 6	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	クロロ酢酸			0			0			5		0	0.02	_	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	クロロホルム			0			0			5		10	0.06	_	_		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ジクロロ酢酸			0			0			5		0	0.00		-	2 12 2	検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	<u>ジブロモクロロメタン</u>			0			0			5		0	0.03	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	臭素酸			00			0			5		0	0. 1				検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
				00						5		0	0.01	-	-		
	総トリハロメタン			_			0							-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	トリクロロ酢酸			0			0			2		0	0.03	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ブロモジクロロメタン			0			0			2		0	0. 03	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ブロモホルム			0			0)		0	0.09	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	ホルムアルデヒド			0			0		(O		0	0. 08	-	-		検査回数を減らすことができない項目のため1年に4回以上の検査(水道法:4回/1年)
	亜鉛及びその化合物			0									1.0	0. 20	0. 10		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
33	アルミニウム及びその化合物			0									0. 2	0. 04	0. 02	0.02未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	鉄及びその化合物			0									0. 3	0.06	0. 03		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
35	銅及びその化合物			0									1.0	0. 20	0.10	0.01未満	過去の最大値が頻度滅の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
36	ナトリウム及びその化合物			0									200	40.0	20. 0	8. 5	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
37	マンガン及びその化合物			0									0. 05	0.010	0.005	0.001未満	過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
38	塩化物イオン	0	0	0	0	0	0	0	0 () (0 0	0	200	-	-	8. 3	検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)			0									300	60	30	48	過去の最大値が頻度減の①以下のため1年に1回の検査(水道法:1回/1年)
	蒸発残留物			0								1	500	100	50		
	陰イオン界面活性剤			Ō						_	1	1	0. 2	0. 04	0. 02		過去の最大値が頻度減の②以下ですが安全を考慮し1年に1回以上の検査(水道法:1回/3年)
	ジェオスミン			0					-	\dashv			0.00001	0. 000002	0. 000001		検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
	2-メチルイソボルネオール			0						-			0. 00001	0. 000002	0. 000001		検査回数の減不可のため毎月検査(ただし藻類の発生の少ない時期を除きます)
-	非イオン界面活性剤	-						-	-	-		+	0. 00001	0.004	0. 002		水源周辺に変化がなく過去の検査結果が基準値の1/2を超えていない為、水道法施行規則第15条第1項第4号に基づき省略。
	チュインが回位に利 フェノール類			0						-		1	0.02	0.004	0.002		水脈同辺に変化がなく週去の検査和未が整年間の1/2と起えていない場、水道法間1/3.利用174.末月14.末月14.末月14.末月14.末月14.末月14.末月14.末月1
	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	0	0	0	0	0	0	0	0 () C	0 0	0	0.005	0.0010	- 0.0003		地名の
47	9H値	0	0	0	0	0				_	_		5.8 ~ 8.6	-			
	•	0	0											-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	味			0	0	0	0				0 0		異常でないこと	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	臭気	0	0	0	0	0	0				0 0		異常でないこと	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
	色度	0	0	0	0	0	0				0 0		5	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
51	濁度	0	0	0	0	0	0				0 0		2	-	-		検査回数の減不可のため毎月検査(水道法:毎月)
		9	9	51	9	9	22	9	9 2	22	9 9	22	項目数		注) 各検3	酫頃目の単位は、	「No.1 [/mL]」, 「No.3~No.46 [mg/L]」, 「No.50~No.51 [度]」, 「No.2及びNo.47~No.49 [単位なし]」